

日本

生理学

雑誌

JOURNAL OF THE PHYSIOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN

42巻 12号 1980

昭和54年度生理学論文表題集(5)501

お知らせ 第8回国際バイオメカニクス学会大会開催要項525

第10回国際脳波・臨床神経生理学会議525

日本生理学雑誌第42巻総目次、人名索引

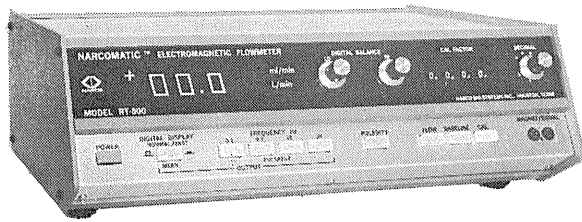
日本生理誌
J. Physiol. Soc. Japan

日本生理学会

NASAの技術を導入した未来のフローメーター登場!



NARCOMATIC 電磁血流計



RT-500

米国ナルコ・バイオシステムズ社がRT-400に続き開発したナルコマテックRT-500はこれまでの常識を破る革命的な新型の自動血流計で、ナル調整やゲイン調整は必要ありません。オートマチック・ゼロの特徴により、血管上のプローブが動いてもベースラインの変動はなく、正確且つ迅速な血流測定ができます。

※カタログ等の御請求は本社工用電子課へ

《特長》

- オートマチック・ゼロによりゼロレベルの変動はありません。
- 流量はデジタル表示で直読できます。
- 操作が簡単ですから臨床用として最適です。
- コンパクトで持ち運びに便利です。
- プローブはすべて較正済みで臨床用から研究用まで豊富に用意されています。

日本総代理店



株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

〒101 東京都千代田区内神田3-2-12クリハラビル ☎(03)254-0052代
札幌:(011)752-0176 北陸:(0764)78-5652 名古屋:(052)524-5408
大阪:(06)787-0544 広島:(0822)93-2163 福岡:(092)472-3800

米国MIDGARD社製

脳波からユニット電位まで
測定できるミニ・テレメータ

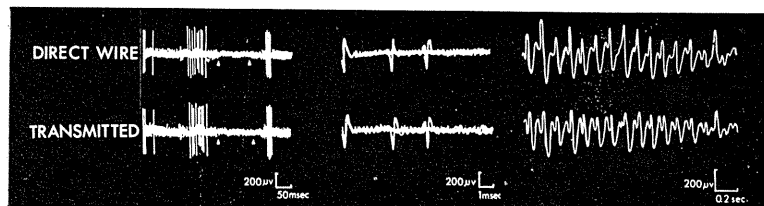
Miniature FM Transmitter

Model MXM-100



本装置はEEGからユニット電位までの生体信号を無線で送ることができるテレメータです。

モデル MXM-100 のユニークな特徴はインピーダンスの高い微小電極と共に使用できることです。



日本総代理店



株式会社 **東海医理科**
TOKAI IRIKA CO., LTD.

〒101 東京都千代田区内神田3-2-12クリハラビル ☎(03)254-0052代
札幌:(011)752-0176 北陸:(0764)78-5652 名古屋:(052)524-5408
大阪:(06)787-0544 広島:(0822)93-2163 福岡:(092)472-3800

[昭和54年度生理学論文表題集] (5)

(日本生理学雑誌に掲載の分も含む)

本表題中 * 印は前年度の脱落分を示す

岡山大学医学部第一生理学教室

- 1) 畠瀬 修(1979.1)医科系大学院抄論. 医学教育 10, 48-52
- 2) 堀 泰雄(1979.2)優性焦点 dominant focus 形成に必要な電流強度について. 脳研究会誌 5, 130
- 3) Hatase, O., Fujii, T., Kuramitsu, M., Itano, T., Takahashi, F., Murakami, T. & Nisida, I.(1979.2)Co-existence of inhibitory and stimulatory factors modulating cell proliferation on rat liver cytoplasm. Acta Med. Okayama 33, 73-80
- 4) Tsutsui, K., Hatase, O. & Oda, T.(1979.2)Partial purification and properties of bovine heart catalase. Acta Med. Okayama 33, 103-111
- 5) Takahashi, F., Kuramitsu, M., Tokuda, M., Matsui, H., Itano, T., Kuramitsu, M., Hatase, O. & Nisida, I.(1979.3)Partial purification and biological activities of chick growth factors. Acta Med. Okayama 33, 167-176
- 6) 土井昭孚, 稲葉耕三, 西田 勇(1979.3)細胞分裂抑制物質ラット肝小胞コルニンの精製とその若干の化学的性質(抄). 日本生理誌 41, 70
- 7) 岸田 昭, 山口隆昌, 川上雅之, 伊丹義明, 原武仁, 村上哲英, 西田 勇(1979.3)ウニ卵の発生におよぼす重金属の影響(II)(抄). 日本生理誌 41, 71
- 8) 松井秀樹, 倉光 誠, 徳田雅明, 高橋央生, 畠瀬修, 西田 勇(1979.3)ラット肝上清中に存在する複数の細胞増殖抑制因子について(抄). 日本生理誌 41, 70
- 9) 板野俊文(1979.4)新しいRNA合成阻害剤 Illudin S の作用機作の解析. 岡山医誌 91, 453-460
- 10) 倉光 誠, 板野俊文, 松井秀樹, 徳田雅明, 畠瀬修, 村上哲英, 西田 勇, 林 英生(1979.4) Illudin S の作用機作の解析: Illudin S の L929 線維芽細胞の表面形態に及ぼす影響について. 岡山医誌 91, 461-467
- 11) Inaba, K., Doi, A. & Nisida, I.(1979.8)Heat stable cell growth inhibiting factor isolated from rat liver microsomes. Acta Med. Okayama 33, 213-217
- 12) 村上哲英, 岸田 昭, 川上雅之, 山口隆昌, 片山昭, 土井昭孚, 西田 勇(1979.8)マウスの回避学習と報酬学習に及ぼす vinblastine の腹腔内投与の影響. 岡山医誌 91, 929-936
- 13) Hori, Y.(1979.9)On intensity of direct current necessary to form a dominant focus by using new type of electrode. 日本生理誌 41, 338
- 14) Murakami, T. H., Kishida, A., Kawakami, M.,

- Yamaguchi, T. & Nisida, I.(1979.9)Autoradiographic analysis of ³H-vinblastine incorporation into the mouse brain. 日本生理誌 41, 336
- 15) Kuramitsu, M., Matsui, H., Tokuda, M., Takahashi, F., Hatase, O. & Nisida, I. (1979.9) Changes in activities of cell proliferation regulators in rat liver cytoplasm induced by partial hepatectomy. 日本生理誌 41, 283
- 16) 堀 泰雄(1979.9)家兎運動皮質の優性焦点 dominant focus 形成に必要な電流強度について. 日本心理学会第43回大会発表論文集 42
- 17) 村上哲英, 土井昭孚, 岸田 昭, 西田 勇(1979.10) マウスの回避学習に及ぼすコルヒチンとビンブラスチンの影響. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 37
- 18) 稲葉耕三, 土井昭孚, 西田 勇(1979.10)ラット肝小胞体画分より分離した耐熱性の細胞分裂抑制因子について. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 30
- 19) 松井秀樹, 倉光 誠, 徳田雅明, 高橋央生, 畠瀬修, 西田 勇(1979.10)ラット肝上清中の細胞増殖抑制因子の作用機作と物性について. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 6
- 20) 畠瀬 修, 徳田雅明, 黒崎知博, 倉光 誠, 松井秀樹, 高橋央生(1979.10)ミトコンドリア・マトリックスにおける Ca²⁺ 動態制御系(仮称)について. 生化学 51, 691
- 21) 倉光 誠, 松井秀樹, 徳田雅明, 高橋央生, 畠瀬修(1979.10)ラット肝上清中に存在する L929 線維芽細胞 DNA 合成抑制因子について. 生化学 51, 775
- 22) 稲葉耕三, 土井昭孚(1979.11)ラット肝ミクロゾーム画分より分離される Cell ballooning factor について. 日本細胞生物学会第32回大会講演要旨 95
- 23) Murakami, T. H.(1979.12)An autoradiographic analysis of [³H]-vinblastine distribution in mouse brain after intraperitoneal and intracerebral injection. Eds. M. Ito et al. Integrative Control Functions of the Brain, Kodansha, Tokyo 2, 388-389

岡山大学医学部第二生理学教室

- 1) 中山 沃(1979.2)Auerbach の足跡. 生体の科学 30, 55-58
- 2) 中山 沃, 禰屋俊昭, 高木 都, 水谷雅年(1979.2)胃腸運動および胆嚢運動に対する Domperidone の迷走神経性亢進効果について. 第2回ドンペリドン研究会講演内容集 50-51

- 3) 中山 沃 (1979.3) 消化管運動. Tokyo Tanabe Quarterly **29**, 65-77
 - 4) 中山 沃, 禰屋俊昭, 高木 都 (1979.3) 腸運動と壁内神経. 特定研究「脳の統御機能」報告書 (2), 191-192
 - 5) 水谷雅年, 楯谷一成, 禰屋俊昭 (1979.3) ハトの胆管運動について. 日本生理誌 **41**(3), 76
 - 6) 高木 都, 中山 沃 (1979.3) ニワトリの膵管の運動について. 日本生理誌 **41**(3), 76
 - 7) 中山 沃 (1979.4) 「胆汁排出の機序」—運動機能を中心として—. 第2回胆道機能懇話会抄録集 3-8
 - 8) Takaki, M. (1979.7) Physiological and pharmacological studies on pancreatic duct smooth muscle in chicken. Ital. J. Gastroenterol. **11**, 61-69
 - 9) 中山 沃 (1979.7) 消化管の運動. 中外医学社, 東京
 - 10) Takaki, M., Neya, T. & Nakayama, S. (1979.9) Role of the sympathetic nerve in the recto-rectal reflex. J. Physiol. Soc. Japan. **41**(8,9) 384
 - 11) Nakayama, S., Neya, T., Takaki, M. & Mizutani, M. (1979.9) The activity of the spinal defecation center in the guinea pig. In M. Ito et al. (Ed.) Integrative control functions of the brain II, 273-274
 - 12) Neya, T., Takaki, M. & Nakayama, S. (1979.10) Effects of vagotomy on feeding and defecation in guinea pigs. Acta Med. Okayama **33**, 371-377
 - 13) Nakayama, S., Neya, T., Yamasato, T., Takaki, M. & Mizutani, M. (1979.12) Activity of the spinal defaecation centre in the guinea pig. Ital. J. Gastroenterol. **11**, 168-173
- 岡山大学医学部脳代謝研究施設機能生化学部門**
- 1)* 洲脇貞吉 (1978) 実験的高アルギニン血症に関する研究. 第2編アルギニン大量負荷ウサギ尿中の guanidinosuccinic acid について. 岡山医誌 **90**, 1393-1398
 - 2)* 森 昭胤, 六川二郎, 岸田吉一, 片山泰人 (1978) (3R)-(-)-4-amino-3-hydroxybutanoic acid によるてんかん治療法に関する研究. 精神薬療基金年報 **10**, 161-166
 - 3) 竹内 宏, 宮本雅美 (1979) Bromocriptine の向神経作用. 医学のあゆみ **108**, 215-216
 - 4) 森 昭胤 (1979) 実験的てんかんモデル. 神経研究の進歩 **23**, 891-903
 - 5) 片山泰人 (1979) 先天性驛ノワールデンブルグ症候群(ネコ). 松下宏, 川俣順一(編)疾患モデル動物ハンドブック: 医歯薬出版 482-485
 - 6) 森 昭胤 (1979) 実験的けいれん発作. 松下宏, 川俣順一(編)疾患モデル動物ハンドブック: 医歯薬出版 362-366
 - 7) 森 昭胤(編) (1979) 神経伝達物質測定法マニュアル. 神経伝達物質測定法マニュアル: 医歯薬出版
 - 8) 森 昭胤, 片山泰人 (1979) ヒト疾患モデル動物としてのワールデンブルグ症候群ネコの純化, 開発, 改良. 実験動物 **23**, 453-454
 - 9) 森 昭胤 (1979) 中枢けいれんの生化学的機構とくに神経伝達物質に関して. 脳神経外科 **7**, 923-931
 - 10) 平松 緑, 小原節子, 平松千明, 難波君衣, 森 昭胤 (1979) Taurocyanine 投与によるマウス脳内モノアミンの変動ならびに行動の異常について. 含硫アミノ酸 **2**, 79-85
 - 11) 片山泰人, 進藤省一郎, 沢木 惇, 渡辺洋子, 平松千明, 森 昭胤 (1979) Taurocyanine の生合成に関する研究. 含硫アミノ酸 **2**, 297-304
 - 12) 竹内 宏, 田村泰子, 熊谷 曄, 池田正樹 (1979.2) 水溶性造影剤 Meglunine Iothalamate ならびに Meglunine Iocarmate の神経細胞活動性に対する作用—軟体動物巨大神経細胞による—. 基礎と臨床 **13**, 491-502
 - 13) 竹内 宏, 田村泰子, 酒井昭則, 西沢林蔵 (1979) 神経細胞興奮性に対する L-Phe-L-Tyr を含んだ tripeptide の抑制作用. 脳研究会誌 **5**, 42-43
 - 14) 宮本雅美, 横井 功, 酒井昭則, 竹内 宏 (1979) 軟体動物巨大神経細胞に対する麦角アルカロイドの作用. 脳研究会誌 **5**, 44-45
 - 15) 熊谷 曄, 池田正樹, 田村泰子, 竹内 宏 (1979) 神経細胞の電気活動に対する水溶性造影剤の影響. 脳研究会誌 **5**, 46-47
 - 16) 森 昭胤, 大畝晴美, 片山泰人, 渡辺洋子 (1979) ウシ脳組織 α -guanidinoglutaric acid の同定について. 脳研究会誌 **5**, 94-95
 - 17) 進藤省一郎, 片山泰人, 森 昭胤, 今井健郎 (1979) グルタミン酸系酵素に及ぼす諸種グアニジン化合物の作用について. 脳研究会誌 **5**, 96-97
 - 18) 藤原正昭, 白壁征夫, 片山泰人, 森 昭胤 (1979) けいれん準備状態におけるマウス脳部位別アセチルコリンエステラーゼ活性の変動について. 脳研究会誌 **5**, 150-151
 - 19) Takeuchi, H., Tamura, H. & Nishizawa, R. (1979) Inhibitory effect of tripeptides containing L-Phe-L-Tyr on neuronal excitability. Eur. J. Pharmacol. **54**, 393-396
 - 20) Takeuchi, H., Tamura, H. & Sakai, A. (1979) Inhibitory effects of aromatic oligopeptides on the excitability of identifiable giant neurons of an african giant snail (*Achatina furica* Férussac). Arch. Int. Pharmacodyn. Théor. **237**, 149-167
 - 21) Leskawa, K. C., Yohe, H. C., Matsumoto, M. & Rosenberg, A. (1979) Large-scale preparation of synaptosomes from bovine brain using a zonal rotor technique. Neurochem. Res. **4**, 483-504
 - 22) Mori, A., Ohkusu, H., Katayama, Y. & Wata-

- nabe, Y.(1979)Identification of guanidinosuccinic acid, guanidinoglutaric acid and homoarginine in the brain. *Neurosci. Lett., Neled Suppl.* **2**, S14
- 23) Miyamoto, M., Yokoi, I., Sakai, A. & Takeuchi, H.(1979)Excitatory effects of ergot alkaloides and their derivatives on the excitability of an identifiable giant neurone of the african giant snail(*Achatina furica* Férussac). *Arch. Int. Pharmacodyn. Thér.* **241**, 49-67
- 24) Mori, A., Katayama, Y., Higashidate, S. & Kimura, S. (1979) Fluorometrically analysis of guanidino compounds in mouse brain. *J. Neurochem.* **32**, 643-644
- 25) Matsumoto, M., Kobayashi, K. & Mori, A. (1979)Distribution of guanidino compounds in bovine brain. *J. Neurochem.* **32**, 645-646
- 26) 竹内 宏, 田村泰子 (1979.4) *Achatina furica* Férussac の同定された巨大神経細胞の興奮性に対する tyrosine ならびに tryptophan の誘導体の抑制作用. *日仏生物誌* **19**, 22
- 27) 竹内 宏, 田村泰子(1979.4) 5-Hydroxytryptamine ならびに Dopamine に感受性のある2つの軟体動物巨大神経細胞の電気活動に対する apomorphine, piribedil および bromocriptine の作用. *日仏生物誌* **19**, 22
- 28) 横井 功, 森 昭胤, 黒野昌庸, 宮本茂敏(1979) 軟体動物巨大神経細胞に対する種々 GABOB塩類の作用. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **41**, 284
- 29) 宮本雅美, 横井 功, 酒井昭則, 竹内 宏(1979) 軟体動物巨大神経細胞興奮性に対する ergot-alkaloid の作用. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **41**, 300
- 30) 中江 勲, 片山泰人, 津尾道雄, 森 昭胤 (1979.6) ワールドデンブルグ症候群ネコの生化学的研究. *生化学* **51**, 1062
- 31) 平松千明, 片山泰人, 渡辺洋子, 森 昭胤 (1979.6) マウス脳内グアニジノ化合物含有量の系統差について. *生化学* **51**, 1063
- 32) 赤木正幸, 片山泰人, 渡辺洋子, 森 昭胤 (1979.10) 大脳皮質コバルト焦点組織におけるグアニジノ化合物の変動について. *生化学* **51**, 846
- 33) 竹内 宏, 田村泰子 (1979.10) 軟体動物巨大神経細胞興奮性に対する aromatic amino acid 誘導体の抑制作用. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **42**, 30
- Soc. Japan **41**, 306
- 4) Matsumura, M., Ochi, K. & Kimura, K.(1979.8) Shortening velocity of rabbit papillary muscle under viscous or inertia loading. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 378
- 5) 喜多 弘(1979.8)ホルモンと伝達物質の放出. *神経研究の進歩* **23**, 656-670
- 6) 喜多 弘, 成田和彦 (1979.10) 無 Ca 溶液中における微小終板電位頻度に対する反復刺激効果. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 **28**
- 7) 木村 久, 松村幹郎 (1979.10) ネコ外眼筋における slow fiber の占める割合. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 **25**
- 8) 越智和典, 内藤富夫, 福原 武 (1979.10) カプトガニの心臓自動の起源. *日本動物学会第50回大会予稿集* **71**
- 9) Matsumura, M. & Kimura, H. (1979.11) Relationship between sarcomere length and tension in glycerol-extracted cat papillary muscle examined by laser diffraction. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **11**(Suppl.), 60
- 10) 木村 久, 松村幹郎, 筒井 純 (1979.12) 眼球運動における外眼筋 slow fiber の役割. 第2回国際眼研究会議日本部会講演要旨集 **74**

川崎医科大学第二生理学教室

- 1) 入来正躬, 岡田博匡, 佐藤昭夫(1979.1)排尿の生理. **44**, 1-17
- 2) 岡田博匡, 深井喜代子(1979.2)イヌの遠側結腸促進反射に対する橋排便反射中枢の役割. *自律神経* **16**, 33
- 3) 福田博之(1979.2)骨盤神経直腸枝の求心性活動の大脳皮質への投射. *自律神経* **16**, 33
- 4) 岡田博匡, 深井喜代子(1979.3)イヌの近側結腸—遠側結腸反射における橋排便反射中枢の役割. *日本生理誌* **41**, 76-77
- 5) 福田博之(1979.3)イヌの骨盤神経直腸枝の遠心性活動に対する大脳皮質の刺激効果. *日本生理誌* **41**, 77
- 6) 山根正信(1979.3)ウシガエルのリンパ心臓拍動中枢活動について. *日本生理誌* **41**, 77
- 7) Okada, H. & Fukai, K. (1979.9) Autonomic nerve activity during the proximal-distal colonic reflex in dogs. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 384
- 8) Fukuda, H. (1979.9) Excitatory and inhibitory neuronal responses of the pontine defecation reflex center to stimulation of the cerebral cortex in the dog. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 386
- 9) 岡田博匡, 深井喜代子 (1979.10) イヌの胃—大腸反射に対する橋排便反射中枢の役割. *自律神経* **16**, 230-236
- 10) 福田博之, 深井喜代子 (1979.10) イヌの直腸および肛門管の機械的刺激に対する橋排便反射中枢=

川崎医科大学第一生理学教室

- 1) 内藤富夫, 松村幹郎(1979.1)臨床検査技術新書 生理学基礎—臨床. 金芳堂 1-32, 65-104
- 2) 成田和彦, 喜多 弘(1979.3)反復刺激後の微小終板電位頻度に対する温度の影響. *日本生理誌* **41**, 72
- 3) Kita, H. & Narita, K.(1979.8) Tetanic rise in the frequency of miniature end-plate potentials at the frog neuromuscular junction in Mn-, Co- and Ni-saline solutions. *J. Physiol.*

ューロンの応答. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 21

- 11) 岡田博匡, 古川直裕 (1979.10) イヌの脾臓・腎臓および心臓の交感神経活動に対する咽頭刺激の効果. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 28
- 12) 岡田博匡, 深井喜代子 (1979.10) イヌの食道伸展刺激による遠側結腸支配の自律神経活動. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 32
- 13) 岡田博匡, 深井喜代子 (1979.11) 食道—大腸反射における橋排便反射中枢の役割. 第32回日本自律神経学会総会プログラムおよび講演抄録 12
- 14) 福田博之 (1979.11) イヌの大脳皮質による橋排便反射中枢の調節. 第32回日本自律神経学会総会プログラムおよび講演抄録 12-13
- 15) 岡田博匡, 深井喜代子 (1979.12) イヌの小腸—大腸反射に対する橋排便反射中枢の役割. 自律神経 16, 307-313

鳥取大学医学部第一生理学教室

- 1) 日地康武, 佐々木寛, 門脇秀夫, 山田博子 (1979.3) ヒト茸状乳頭ならびに有郭乳頭に存在するタンパク質の SDS 電気泳動. 文部省科研費総合研究(A)研究成果集録 13-16
- 2) 井元敏明 (1979.3) ラット舌上皮に存在するタンパク質のアフィニティークロマトグラフィー. 文部省科研費総合研究(A)研究成果集録 21-23
- 3) 笠木 健, 市川 修, 三好美智夫, 日地康武, 山田 守 (1979.3) ザリガニ無髄神経における物性的研究. 日本生理誌 41, 71-72
- 4) 日地康武, 山田博子, 笠木 健, 山田 守, 門脇秀夫, 佐々木寛 (1979.3) ヒト茸状乳頭内の味蕾数とそのタンパク質組成. 日本生理誌 41, 72
- 5) Ichikawa, O., Kasagi, T., Miyoshi, M., Hiji, Y. & Yamada, M. (1979.9) A viscoelastic study on the giant axon of the crayfish nerve. 日本生理誌 41, 308
- 6) 市川 修, 笠木 健, 三好美智夫, 日地康武, 山田 守 (1979) ザリガニ巨大神経線維に関する粘弾性の研究. 第56回日本生理学会大会予稿集 17
- 7) 門脇秀夫, 佐々木寛, 日地康武 (1979) ヒト舌の茸状乳頭および有郭乳頭に存在する蛋白質組成. 日本耳鼻咽喉科誌 82, 1144
- 8) 日地康武 (1979) 味覚の生理学——栄養士のための——. 第20回日本栄養士会総合資料 17-24
- 9) 日地康武 (1979) パラニューロンとしての受容細胞——味蕾細胞——. 神経研究の進歩 23, 792-797
- 10) Kasagi, T., Ichikawa, O., Miyoshi, M., Hiji, Y. & Yamada, M. (1979) Effects of nickel ion on the conduction of action potentials in non-myelinated nerve fibre of crayfish. Arch. Intern. Physiol. Biochim. 87, 297-310
- 11) 門脇秀夫, 佐々木寛, 山田博子, 日地康武 (1979) ヒト, ニホンザル, イヌの茸状, 有郭乳頭にみられた特異的蛋白質の検出. Proc. of the 13th

Japanese Symp. on Taste and Smell 95-98

- 12) 小川 尚, 井元敏明, 羽山富雄 (1979) 孤束核における味覚中継ニューロンの性質. Proc. of the 13th Japanese Symp. on Taste and Smell 71-74
- 13) Ogawa, H., Akagi, T., Ito, H. & Imoto, T. (1979) Lingual projections to the dorsal pons of the rat, studied by the field potential analysis. Neuroscience Letters 12, 289-293

鳥取大学医学部第二生理学教室

- 1)* 鈴木 俊, 塩原俊介, 尾崎忠弘, 高見 博, 山下元秀, 斧山英二, 北尾省三 (1978.7) セルレインによる胆嚢収縮機能検査—超音波断層法による検討—. 診療と新薬 15(8), 1943-1949
- 2)* Hikosaka, O., Igusa, Y., Nakao, S. & Shimazu, H. (1978.11) Direct inhibitory synaptic linkage of pontomedullary reticular burst neurons with abducens motoneurons in the cat. Exp. Brain Res. 33(3,4), 337-352
- 3)* Markham, C. H., Nakao, S. & Curthoys, I. S. (1978.11) The effect of anesthesia on pontomedullary reticular burst inhibitory neurons related to nystagmus. Proc. Society for Neuroscience, 8th Annual Meeting 166
- 4)* 尾崎忠弘, 福本四郎, 山下元秀, 高見 博, 及川俊彦 (1978.12) 下部食道接合部筋電図の内視鏡直視下誘導. 日平滑筋誌 14(4), 203-204
- 5)* 尾崎忠弘, 福本四郎, 高見 博, 山下元秀, 及川俊彦 (1978.12) ヒト胃筋電図の臨床成績—内視鏡直視下誘導法による—. 日平滑筋誌 14(4), 223-224
- 6)* 尾崎忠弘, 福本四郎, 山下元秀, 高見 博, 及川俊彦 (1978.12) ヒト幽門輪機能の筋電図学的研究. 日平滑筋誌 14(4), 225-226
- 7)* 山下元秀, 高見 博, 鈴木 俊, 白石義光, 藤谷嘉子, 及川俊彦, 尾崎忠弘 (1978.12) イヌ胃温度の日内リズム—胃運動の関与について—. 日平滑筋誌 14(4), 227-229
- 8) 及川俊彦, 藤谷嘉子, 山内教宏, 久田研二 (1979.1) 痛点刺激による誘発電位の成分波と痛み感覚との対応. 脳波と筋電図 7(1), 76
- 9) 山下元秀, 白石義光, 藤谷嘉子, 及川俊彦 (1979.3) イヌ胃温度の日内変動. 日本生理誌 41(3), 75
- 10) 高見 博, 山下元秀 (1979.3) ヒト胃排出機能とその関与因子—胃平滑筋筋電図と内因性 gastrin 動態について—. 日本生理誌 41(4), 75-76
- 11) 尾崎忠弘, 岸田専蔵, 山下元秀, 高見 博, 福本四郎 (1979.3) ヒト胃筋電図の内視鏡直視下誘導法と臨床的意義. 鳥取医誌 7(1), 78-83
- 12) 高見 博, 山下元秀, 尾崎忠弘, 福本四郎 (1979.3) ヒト胃排出機能と病態生理. 鳥取医誌 7(1), 89-94
- 13) 及川俊彦, 藤谷嘉子, 山内教宏 (1979.4) 痛覚刺激による体性感覚誘発電位. 神経進歩 23(2), 294-

301

- 14) Fujitani, Y., Kuda, K., Hosogai, M., Onoyama, E. & Oikawa, T. (1979.7) Circadian rhythm in electrical activity and motility of the stomach and its relation to awake-sleep stages in cats. Proc. 3rd Intern. Cong. Sleep Res. 98
- 15) 尾崎忠弘, 山下元秀, 高見 博, 福本四郎 (1979.8) 消化管筋電図の管内単極導出の臨床的試み. 米子医誌 **30**(3), 263
- 16) 高見 博, 山下元秀, 尾崎忠弘, 福本四郎 (1979.8) 十二指腸潰瘍の治癒傾向と粘膜内 ALP・LAP 活性. 米子医誌 **30**(3), 263
- 17) Sasaki, S. & Nakao, S. (1979.9) Role of interneurons within the abducens nucleus in nystagmic modulation of medial rectus motoneurons. J. Physiol. Soc. Japan **41**(8,9), 313
- 18) Fujitani, Y., Oikawa, T. & Yamauchi, N. (1979.9) The differences between somatosensory evoked potentials to electrical stimulation of single cutaneous pain and tactile spots. J. Physiol. Soc. Japan **41**(8,9), 332
- 19) Onoyama, E., Shiraiishi, Y., Fujitani, Y. & Oikawa, T. (1979.9) Myoelectrical and mechanical activities of the stomach and duodenum in fasting state of dogs. J. Physiol. Soc. Japan **41**(8,9), 374
- 20) Uemasu, J. (1979.9) Diurnal rhythm of electroretinogram in conscious dog, with reference to the sleep-waking cycle. Yonago Acta medica **23**(2), 55-61
- 21) 山内教宏, 藤谷嘉子, 及川俊彦 (1979.11) 機械的刺戟による体知覚性誘発電位. 臨床脳波 **21**(11), 729-738
- 22) Markham, C. H., Nakao, S. & Curthoys, I. S. (1979.11) Direct projection of pauser neurons to nystagmus-related pontomedullary reticular burst neurons. Proc. Society for Neuroscience, 8th Annual Meeting

島根医科大学生理学教室

- 1) 大村 裕, 前野 巍, 山岸俊一 (1979.2) Structure and Function of receptor and ion channels in biological membrane. 生体の科学 **30**(1), 45-48
- 2) Maeno, T., Sawada, M. & Enomoto, K. (1979.2) Effects of dimethyldiethanolammonium on the ionic permeability of chemically modulated channels in the frog endplate and the *Onchidium* neuron. Brain Res. Bull. **4**(1), 173-175
- 3) 榎本浩一, 森田弘道, 木島博正 (1979.3) ハエの糖受容体に対する阻害剤の効果. 日本生理誌 **41**(3), 71
- 4) Sawada, M., Enomoto, K. & Maeno, T. (1979.9) Ionic mechanism of the inhibition of long duration in *Aplysia* synapse. J. Physiol. Soc.

Japan **41**(8,9), 305

- 5) Masumura, S., Hashimoto, M., Tsurumoto, Y. & Satō, T. (1979.9) Carbohydrate metabolism of rabbit aorta during contraction. J. Physiol. Soc. Japan **41**(8,9), 429
- 6) Masumura, S., Hashimoto, M., Hashimoto, Y. & Satō, T. (1979.12) Activity of glycogen phosphorylase in rabbit aorta during contraction. Shimane J. Med. Sci. **3**(2), 35-42
- 7) Masumura, S., Hashimoto, M., Hashimoto, Y. & Satō, T. (1979.12) Activity of glycolytic enzymes in rabbit aorta during contraction. Shimane J. Med. Sci. **3**(2), 91-98

広島大学医学部第一生理学教室

- 1) Seyama, I. (1979) Characteristics of the anion channel in the sino-atrial node cell of the rabbit. J. Physiol. **294**, 447-460
- 2) 瀬山一正 (1979) 天然有毒物質—作用機序と医学の進歩への貢献 興奮性膜と植物毒. 第20回日本医学会総会誌
- 3) 瀬山一正 (1979) 三角形ガラス管微小電極. 生体の科学 **30**(1), 43-44

広島大学医学部第二生理学教室

- 1) 藤井一元 (1979.1) 胃機能の神経性調節機序. 胃液ペプシン研究同好会講演集録 **19**, 31-67
- 2) 溝西 任, 銭場武彦 (1979.2) 胃内圧変化に及ぼす神経要素の影響. 自律神経 **16**, 35
- 3) 藤井一元, 高杉純好 (1979.3) Domperidone による胃運動促進反応および胃血流量増加反応とその発現機序について. ドンペリドン研究会講演内容集 **2**, 38-49
- 4) 銭場武彦 (1979.3) 胃・腸管運動の基礎と臨床. 真興交易医書出版 1-250
- 5) 銭場武彦 (1979.3) 消化管運動の神経支配. 日本医事新報 **2862**, 128-129
- 6) 入内島十郎 (1979.4) 医学英語文例集. 中外医学社 1-377
- 7) 入内島十郎 (1979.5) 血圧の神経性調節. 治療学 **2**, 579-583
- 8) 川村 毅 (1979.6) Achilles 腱反射におよぼす運動負荷の影響に関する研究. 広島大医誌 **27**, 483
- 9) 溝西由宇子 (1979.6) 舌血管運動神経支配について. 広島大医誌 **27**, 484
- 10) 菊地邦雄 (1979.6) 筋持久力に関する生理学的研究. 広島大医誌 **27**, 484
- 11) 銭場武彦, 溝西 任 (1979.7) 胃内圧変動に及ぼす外来神経の切断および γ -Oryzanol の影響. 広島医学 **32**, 701-707
- 12) 藤井一元 (1979.8) 胸痛の発生機序. 広島医学 **32**, 90-92
- 13) Iriuchijima, J. (1979.9) Lowering of blood pressure in sympathectomized spontaneously hypertensive rats on beta adrenoreceptor

- blockade. Jap. Heart J. **20**, 726
- 14) Fujii, K. & Takasugi, S. (1979.9) Action of histamine on the motor activity of the antral circular muscle in the dog's stomach. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 390
 - 15) Iriuchijima, J. & Numao, Y. (1979.9) Measurement of cardiac output in conscious rats. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 396
 - 16) Semba, T., Fujii, K. & Mizonishi, T. (1979.9) The neural regulation of the motility of the alimentary canals. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 437
 - 17) 入内島十郎 (1979.10) 循環の神経性調節. 呼吸と循環 **27**, 1047-1048
 - 18) Mizonishi, T. & Semba, T. (1979) Effect of distension on mesenteric blood flow and O₂ saturation of venous blood in the intestinal loop. Japan J. Physiol. **29**, 627-633
 - 19) 入内島十郎 (1979.10) 高血圧における血行力学異常. 日本臨床 **37**, 1-5
 - 20) 溝西 亘, 銭場武彦 (1979.10) 胃内圧変化に及ぼす神経要素遮断の影響. 自律神経 **16**, 215-221
 - 21) Iriuchijima, J. (1979) Origins of tonic activity in hypertension. Integrative Control Functions of the Autonomic Nervous system. ed. Brooks, C. McC., Koizumi, K. & Sato, A.
 - 22) Iriuchijima, J. (1979) Evidence against the presence of sympathetic vasodilator fibers in the rat. Integrative Control Function of the Brain. ed. Ito, M. **2**, 239-240
 - 23) 入内島十郎 (1979) 心の微小循環. 微小循環. 東健彦, 土屋雅春, 三島好雄編 177-185
 - 24) 銭場武彦 (1979.11) 胃運動の中樞神経支配とその調節機序. 第20回日本医学会総会誌 819-822
 - 25) 溝西 亘 (1979.12) 胃内容量変化による胃内圧変動に及ぼす神経要素の影響. 日平滑筋誌 **15**, 138-140
 - 26) 藤井一元, 高杉純好 (1979.12) 神経性胃運動促進機構におけるヒスタミンの役割. 日平滑筋誌 **15**, 155-157
 - 27) Takasugi, S., Fujii, K. & Toki, N. (1979.12) Role of histamine in gastric motor excitatory response caused by nerve stimulation in dog. Hiroshima J. M. Sci. **28**, 7-12
- 広島大学歯学部口腔生理学教室**
- 1)* Kanno, Y. (1978.12) Quantal conductance change at cell to cell junction of blastomeres. Cell Struct. Funct. **3**, 386
 - 2) Muneoka, Y., Twarog, B. M. & Kanno, Y. (1979.1) The effects of zinc ion on the mechanical responses of *Mytilus* smooth muscle. Comp. Biochem. Physiol. **62**, 35-40
 - 3) Shiba, Y. & Kanno, Y. (1979.3) Effects of temperature and metabolic inhibitors on infiltration and segregation of dyes in FL cells. Hiroshima J. Med. Sci. **28**, 31-37
 - 4) Maetani, T., Shiba, Y., Muneoka, Y. & Kanno, Y. (1979.3) Effects of Zn²⁺, UO₂²⁺ and 4-aminopyridine on twitch contraction and action potential in the mouse skeletal muscles. Hiroshima J. Med. Sci. **28**, 43-48
 - 5) 宗岡洋二郎, 柴 芳樹, 菅野義信 (1979.3) イガイ平滑筋におけるセロトニンおよびドパミン前駆物質の弛緩作用. 日本生理誌 **41**, 72-73
 - 6) 前谷照男, 柴 芳樹, 宗岡洋二郎, 菅野義信 (1979.3) マウス骨格筋の収縮におよぼす重金属イオンおよび陰イオンの影響. 日本生理誌 **41**, 73-74
 - 7) 菅野義信 (1979.4) 膜から膜への情報伝達—電気的なもの一. 生体膜の構造と機能. 殿村, 佐藤編, 講談社 275-291
 - 8) Kanno, Y., Muneoka, Y., Hada, M. & Yamachi, Y. (1979.4) Multiple regression analysis of influence of factors on masticatory performance. J. Dent. Res. **58**, 1297
 - 9) Maetani, T., Shiba, Y., Muneoka, Y. & Kanno, Y. (1979.6) Effects of SCN⁻ and NO₃⁻ on the responses of mouse skeletal muscles. Hiroshima J. Med. Sci. **28**, 73-78
 - 10) Nomura, S., Shiba, Y., Muneoka, Y. & Kanno, Y. (1979.6) Developmental changes of premetamorphic and fungiform papillae of the frog (*Rana Japonica*) during metamorphosis: A scanning electron microscopy. Hiroshima J. Med. Sci. **28**, 79-86
 - 11) Muneoka, Y., Shiba, Y. & Kanno, Y. (1979.9) Relaxation of *Mytilus* smooth muscle by 5-hydroxytryptophan and dopa. Hiroshima J. Med. Sci. **28**, 123-132
 - 12) Shiba, Y., Ori, M. & Kanno, Y. (1979.9) Effect of serum on cell-substratum interactions: A scanning electron microscopic study. Hiroshima J. Med. Sci. **28**, 183-188
 - 13) Kanno, Y., Shiba, Y. & Sumomogi, H. (1979.9) Electrophysiological studies on macrophage cells of guinea pig and mouse. J. Physiol. Soc. Jpn. **41**, 283
 - 14) Shiba, Y., Sumomogi, H. & Kanno, Y. (1979.9) Developmental change of taste organs of *Xenopus* and bullfrog during metamorphosis. J. Physiol. Soc. Jpn. **41**, 361
 - 15) Kanno, Y., Maetani, T., Hamada, T., Yamada, S., Shiba, Y. & Muneoka, Y. (1979.11) Effects of twitch potentiators on mouse skeletal muscles. J. Dent. Res. **58**, 2284
 - 16) Nomura, S., Shiba, Y., Muneoka, Y. & Kanno, Y. (1979.12) A scanning and transmission electron microscope study of the premetamorphic papillae: Possible chemoreceptive organs in

- the oral cavity of an anuran tadpole (*Rana japonica*). Arch. Histol. Jpn. **42**, 507-516
- 17) 菅野義信 (1979.12) 細胞間の通路. 生体の科学 **30**, 402-408
- 18) Shiba, Y., Sumomogi, H., Nomura, S., Muneoka, Y. & Kanno, Y. (1979.12) Structure of gustatory organs of *Xenopus laevis* during metamorphosis. J. Hiroshima Univ. Dent. Soc. **11**, 236-242
- 広島大学総合科学部保健体育学講座**
- 1)* 菊地邦雄, 磨井祥夫, 和田 実 (1978.3) 骨格筋の神経筋単位の特性に関する筋電図学的研究. 広島大学総合科学部紀要Ⅲ情報行動科学研究 **4**, 47-57
- 2)* 和田 実, 菊地邦雄, 杉山允宏, 高本 登 (1978.3) 中・長距離選手の体力に関する縦断的研究. 広島体育学研究 **4**, 27-36
- 3)* 菊地邦雄 (1978.4) 筋持久力に関する生理学的研究. 広島大医誌 **26**, 77-90
- 4)* 菊地邦雄, 和田 実, 財満義輝 (1978.4) エスケーテニス試合時の心拍数の変動. 体育の科学 **28**, 296-299
- 5)* 菊地邦雄 (1978.6) 中間筋線維の発達に関する組織学的研究. 広島大医誌 **26**, 193-210
- 6)* 川村 毅 (1978.10) Achilles 腱反射におよぼす運動負荷の影響に関する研究. 広島大医誌 **26**, 343-366
- 7)* 菊地邦雄, 磨井祥夫, 和田 実 (1978.10) 水泳選手の体力に関する研究, 第三報筋力トレーニングの効果と水泳記録との関係について. 第33回日本体力医学会大会議事録 **84**
- 8)* 菊地邦雄, 磨井祥夫, 和田 実, 財満義輝 (1978.12) 運動制御機構の解明に関する脳波学的ならびに筋電図学的研究, 第二報条件づけによる脳波と筋電図の変動. 日本体育学会第29回大会号 **190**
- 9)* 和田 実, 菊地邦雄 (1978.12) 中距離選手の体力に関する研究, 第二報トレッドミル5分間走とオールアウト走の心拍数の変動. 日本体育学会第29回大会号 **262**
- 10) 和田 実, 菊地邦雄, 磨井祥夫 (1979.3) 中・長距離選手の循環機能に関する研究—心拍数の絶対値, 増加率および回復率からみたトレッドミル5分間走とオールアウトの比較—. 広島体育学研究 **5**, 33-44
- 11) 川村 毅, 菊地邦雄 (1979.4) 現代健康論. 大学教育社 **1-200**
- 12) Kikuchi, K. (1979.9) Sexual difference of sodium and potassium concentration in skeletal muscle fibers. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 418
- 13) 磨井祥夫, 菊地邦雄, 和田 実 (1979.10) 水泳・陸上選手の等速性筋収縮. 日本体育学会第30回記念大会号 **22**
- 14) 菊地邦雄, 川村 毅, 磨井祥夫, 和田 実 (1979.10) 運動制御機構の解明に関する脳波学的ならびに筋電図学的研究, 第三報筋力の再現時における脳波と筋電図の変動. 日本体育学会第30回記念大会号 **224**
- 15) 調枝孝治, 若林文子, Tani, G. (1979.10) 並列処理システムの系列処理と並列処理. 日本体育学会第30回記念大会号 **173**
- 16) 若林文子, 山下美佐子, 調枝孝治 (1979.10) リズム形成のダイナミックス—幼児の時間評価とリズムパターンの学習過程—. 日本体育学会第30回記念大会号 **174**
- 17) 宮原満男, 小村 堯, 和泉堯己, 高本 登 (1979.10) フルマラソンにおけるランナーの生体変化について. 日本体育学会第30回記念大会号 **330**
- 山口大学医学部第一生理学教室**
- 1) Osa, T. & Ogasawara, T. (1979) Influence of magnesium on the β -inhibition of catecholamines in the uterine circular muscle of estrogen-treated rats. Jap. J. Physiol. **29**, 339-352
- 2) 長 琢朗, 渡辺雅夫 (1979.3) 妊娠末期のラット子宮輪走筋におけるカテコラミンの効果. 日本生理誌 **41**(3), 73
- 3) 大川博通 (1979.6) モルモット食道胃接合部の活動性と薬物効果. 第21回日本平滑筋学会抄録集 **48**
- 4) 加藤誠志, Pusch, W. (1979) ウレアーゼ膜の膜電位の膜抵抗. 第1回日本膜学会年会講演要旨集 **18A12**
- 5) 大川博通 (1979) 基礎科目を考える. 日本看護学校協議会誌 **10**(4), 12-15
- 山口大学医学部第二生理学教室**
- 1) Yanase, M. (1979.1) The brain involved in the induction of lordosis behavior as a target site of sex steroids. Bulletin. Yamaguchi Univ. Sch. Med. **25**(3,4), 250
- 2) Sakata, Y. & Murakami, N. (1979.1) Responses of medullary temperature-responsive neurones of rabbits to leucocyte pyrogen injected directly. Bulletin. Yamaguchi Univ. Sch. Med. **25**(3,4), 251
- 3) Murakami, N., Uchimura, H. & Sakata, Y. (1979.1) Comparison of thermosensitivity in the preoptic/anterior hypothalamic area and the midbrain of the rabbit. Pflügers Arch. **379**, 113-116
- 4) 村上 憲, 田仲弘行 (1979.3) 行動性体温調節と脳幹の 5-HT system. 日本生理誌 **41**(3), 79
- 5) 柳瀬昌弘 (1979.3) ラットの性行動における estrogen と progesterone (P) の相互作用について. 日本生理誌 **41**(3), 80
- 6) 村上 憲, 坂田義行 (1979.4) 「延髄温度受容細胞に対する発熱物質の直接投与について—(脳内温度受容器)」第56回日本生理学会大会シンポジウム「温熱生理学の諸問題」にて発表. 第56回日本生理

- 学会大会予稿集 152
- 7) 柳瀬昌弘, 村上 憲(1979.4)脳内アドレナリン(AD) 投与による脳のエストロゲン(E)感受性の増大. 第56回日本生理学会大会予稿集 142
 - 8) 柳瀬昌弘(1979.4)脳の adrenaline(AD) 機構による脳の estrogen 感受性の増強. 日本内分泌誌. **55**(4), 536
 - 9) 坂田義行, 村上 憲(1979.4)延髄温度受容細胞に対する内因性発熱物質と解熱剤の直接投与について. 日本生理誌 **41**(4), 108
 - 10) 柳瀬昌弘(1979.4)雌ラットの Lordosis behavior 誘発機構におけるアドレナリン(AD)の役割. 日本生理誌 **41**(4), 107
 - 11) 柳瀬昌弘, 村上 憲(1979.6)Progesterone(P)の2相性作用について. 山口医学 **28**(2), 236
 - 12) 村上 憲, 的場秀樹(1979.6)寒冷順応ラットにおける骨格筋の適応性変化. 山口医学 **28**(2), 236
 - 13) 村上 憲(1979.9)発熱の生理. 第29回日本体質学会総会抄録 23
 - 14) Murakami, N. & Sakata, Y. (1979.9) Direct application of leucocyte pyrogen on the medullary temperature-responsive neurons of rabbit. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 445
 - 15) Yanase, M. & Murakami, N. (1979.9) Intracerebral adrenaline(AD) facilitation of estrogen sensitivity for inducing lordosis behavior in the ovariectomized rat. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 415
 - 16) Sakata, Y.(1979.10)Effects of pyrogen on the medullary temperature-responsive neurone of rabbits. *Jap. J. Physiol.* **29**(5), 585-596
 - 17) 村上 憲, 坂田義行, 森本昭生(1979.10)ラットにおける脳内セロトニンと体温調節行動. 第31回日本生理学会中国四国地方会・第30回西日本生理学会合同地方会予稿集 37
 - 18) 村上 憲(1979.11)発熱時の体温調節行動. 日本生気象誌 **16**(2), 13
 - 19) 村上 憲, 坂田義行, 森本昭生(1979.12)脳幹モノアミン系の暑熱寒冷順化形成への関与. 文部省科研総合(A)「暑熱寒冷順化の形成過程」昭和54年第1回班会議研究報告集 11-12
- 徳島大学医学部第二生理学教室**
- 1) Matsumoto, J., Uezu, E. & Sano, A. (1979.1) Effects of inhibitors of protein synthesis on sleep in rats. *Neuroscience letters*, Suppl. 2, Elsevier, North-Holland 58
 - 2) 増田良夫, 佐野勝徳, 松本淳治(1979.1)入眠に対する内制止の影響. 脳波と筋電図 **7**, 19
 - 3) 上江洲栄子, 佐野敦子, 松本淳治(1979.1)睡眠および脳波に対する蛋白質, 核酸合成阻害剤の影響. 脳波と筋電図 **7**, 20
 - 4) 上江洲栄子, 佐野敦子, 松本淳治(1979.2)蛋白質合成阻害と睡眠. 脳研会誌 **5**, 64-65
 - 5) 松本淳治, 増田良夫, 佐野勝徳(1979.3)内制止と睡眠. 日本生理誌 **41**, 80-81
 - 6) 松本淳治, 上江洲栄子, 佐野敦子(1979.3)蛋白質合成阻害剤の睡眠に対する影響. 脳の統御機能報告書 **2**, 259-260
 - 7) Matsumoto, J., Sano, A., Sano, K., Masuda, Y., Ishikawa, N. & Uezu, E.(1979.4)Relationship between Pavlovian internal inhibition and sleep. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **41**, 335
 - 8) Morita, Y., Seno, H., Ikehata, K. & Ishikawa, N. (1979.4) Vibratordisease and its sleep profile with special reference to autonomic functions. *J. Physiol. Soc. Jpn.* **41**, 338
 - 9) 妹尾広正, 森田雄介, 石川長英, 松本淳治, 池端邦輔, 中山訓彦(1979.6)電気睡眠の振動病への応用. 民医連医療 **84**, 68-71
 - 10) 中山訓彦, 松本淳治(1979.7)神経系の型分類におけるストレスと睡眠との関係. 第5回「性格・行動と脳波」研究会抄録集 27
 - 11) Nakayama, K., Koyanagi, N., Kabeyama, M. & Matsumoto, J. (1979.7) Relation between the types of the nervous system and sleep in rats. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 124
 - 12) Kobayashi, M. & Matsumoto, J. (1979.7) Myoelectric activity of the stomach in sleep-wakefulness cycle of cats. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 140
 - 13) Sano, A., Matsumoto, J. & Ishikawa, N. (1979.7)Conditional reflex during sleep in cats. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 141
 - 14) Uezu, E., Sano, A. & Matsumoto, J. (1979.7) Effects of inhibitors of protein and RNA synthesis on sleep. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 159
 - 15) Sano, K. & Matsumoto, J.(1979.7)Polygraphic study in micrencephalic rats induced by methylazoxymethanol acetate. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 180
 - 16) Kimura, T. & Matsumoto, J.(1979.7)Relations between vigilance level in a waking state after awakening from sleep and conditional behavior in rats. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 186
 - 17) Seno, H., Morita, Y. & Matsumoto, J.(1979.7)Electrical induction of sleep in cats. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 188
 - 18) Morita, Y., Kiuchi, T. & Matsumoto, J. (1979.7)Ontogenetic variations in the hand skin temperature during sleep in the human subjects. IIIrd Int. Cong. Sleep Res., abst. 248
 - 19) Sano, A., Matsumoto, J. & Ishikawa, N. (1979.10)Conditional reflex in cats during various stages of sleep. *EEG and Clin. Neurophysiol.* **47**, 9
 - 20) 松本淳治, 渡辺慎五, 森田雄介, 佐野敦子, 妹尾広正, 石川長英, 上江洲栄子, 木内妙子(1979.

- 10) 睡眠機構における体液性因子について. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 25
- 21) 松本淳治, 渡辺慎五, 森田雄介, 佐野敦子, 妹尾広正, 石川長英, 上江洲栄子, 木内妙子(1979.10) 睡眠発現に関する体液性因子. 第6回脳研究会抄録集 21
- 22) 長田 清, 石川長英, 松本淳治, 台之尊啓次郎(1979.11) 電撃痙攣のラットおよびパラビオーシス・ラットの睡眠に及ぼす影響. 日本睡眠学会第4回定期学術集会抄録集 6
- 23) Matsumoto, J., Uezu, E. & Sano, A. (1979.11) Effects of inhibitors of protein synthesis on paradoxical sleep in rats. Integrative Control Functions of the Brain(Ed. by Ito, M. et al. Tokyo, Kodansha, Amsterdam, Elsevier) 2, 364-366
- 24) 松本淳治(1979.12) 夢の忘却. 言語生活 336, 30-36
- 25) 上江洲栄子, 佐野敦子, 松本淳治(1979.12) 蛋白質合成阻害と睡眠. 第9回日本脳波・筋電図学会予稿集 146
- 徳島大学歯学部口腔生理学教室**
- 1)* Gustafsson, B., Lindström, S. & Takata, M. (1978.7) Afterhyperpolarization mechanism in the dorsal spinocerebellar tract cells of the cat. J. Physiol. 275, 283-301
- 2) Takata, M. (1979.3) Postsynaptic potentials in the jaw-opening motoneurons by stimulation of the trigeminal nerves. Brain Research. 163, 161-164
- 3) Takata, M., Fujita, S. & Shohara, E. (1979.4) Postsynaptic potentials in the hypoglossal motoneurons set up by hypoglossal nerve stimulation. Jap. J. Physiol. 29, 49-60
- 4) Takata, M. & Fujita, S. (1979.5) The properties of lingually induced IPSPs in the masseteric motoneurons. Brain Research. 168, 648-651
- 5) Kanamori, N. & Satoh, T. (1979.8) Response pattern of cat hippocampal neurons to stimulation of the septal area during sleep and waking. Physiol. Behav. 23(2), 363-368
- 6) Sakai, K., Kanamori, N. & Jouvet, M. (1979.10) Activités unitaires spécifiques du sommeil paradoxal dans la formation réticulée bulbaire chez le Chat non-restreint. C. R. Acad. Sc. Paris. 289(6), 557-561
- 7) Takata, M., Ogata, K. & Kawamura, Y. (1979.12) Inhibition of masseteric motoneurons by stimulation of bilateral lingual nerves. J. Osaka Univ. Dent. Sch. 19, 1-12
- 高知医科大学第一生理学教室**
- 1) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.1) 脳弓破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 98, 19-21
- 2) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.1) 正常ヒツジの乳腺における酪酸代謝とクエン酸代謝との関係. 医学と生物学 98, 53-55
- 3) 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.2) ウサギの卵巣ステロイド生成に対する視床下部弓状核刺激の影響. 医学と生物学 98, 83-87
- 4) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.2) 肝の乳酸代謝に対する反復暑熱曝露の影響. 医学と生物学 98, 89-91
- 5) 斎藤英郎, 藤田正範, 牛越淳夫, 瀬戸勝男(1979.3) 連続照明飼育下の雄ラットの睡眠リズムについて. 日本生理誌 41, 80
- 6) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 藤田正範, 牛越淳夫(1979.3) ストレスの反復負荷に対する酢酸の代謝適応の成立について. 日本生理誌 41, 80
- 7) 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.3) ダイコクネズミの発情期における LH 作用に対する卵巣ステロイド処理の影響. 医学と生物学 98, 123-125
- 8) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.3) 肺のクエン酸代謝に対する二酸化窒素吸入の影響. 医学と生物学 98, 153-155
- 9) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.4) 正常ヒツジの肝における酢酸代謝とイソクエン酸代謝との関係. 医学と生物学 98, 193-195
- 10) Saito, H. (1979.4) Effect of lighting on maturation of neural elements controlling biorhythm of sleep, wakefulness and paradoxical sleep in rats. Brain Res. 166, 359-368
- 11) 瀬戸勝男(1979.4) ストレス刺激に対する脳機能の適応成立について. 適応と脳ホルモン(理工学社) 伊藤真次・川上正澄編 230-255
- 12) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 藤田正範(1979.5) 肝のリンゴ酸代謝に対する反復寒冷曝露の影響. 医学と生物学 98, 229-232
- 13) 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.5) ダイコクネズミの非発情第二日における FSH 作用に対する性腺刺激ホルモンおよび Rhizopus 菌体成分処理の影響. 医学と生物学 98, 233-236
- 14) 藤田正範, 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.5) 肝のリンゴ酸代謝に対する吸収性縫合糸の影響. 医学と生物学 98, 287-289
- 15) 藤田正範, 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.6) 正常ヒツジの肝におけるプロピオン酸代謝とフマル酸代謝との関係. 医学と生物学 98, 305-307
- 16) 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.6) 境界条破壊ウサギの卵巣ステロイド生成に対する卵巣ステロイド処理の影響. 医学と生物学 98, 317-319
- 17) 藤田正範, 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.6) ダイコクネズミの非発情第二日における Rhizopus 菌体成分の作用に対する性腺刺激ホルモン処理の影響. 医学と生物学 98, 365-367
- 18) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 牛越淳夫(1979.7) 正常ヒツジの第一胃粘膜における酢酸代謝とイソクエン酸代謝との関係. 医学と生物学 99, 11-13
- 19) Saito, H., Fujita, M., Ushikoshi, A. Seto, K.

- (1979.7) The influence of cuts around medial basal hypothalamus on the sleep rhythm in rats. *Abst. of Papers Presented Third International Cong. of Sleep Res.* 101
- 20) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.8) 視床下部腹内側核破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復緊縛負荷の影響. *医学と生物学* **99**, 85-87
- 21) 藤田正範, 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.8) 正常ヒツジの第一胃粘膜におけるプロピオン酸代謝とフォーマル酸代謝との関係. *医学と生物学* **99**, 99-101
- 22) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.8) 肺のブドウ糖代謝に対する亜硫酸ガス吸入の影響. *医学と生物学* **99**, 129-132
- 23) Saito, H., Fujita, M., Ushikoshi, A. & Seto, K. (1979.9) Unit activity in hypothalamic island after long-termed deafferentation. *日本生理誌* **41**, 416
- 24) Seto, K., Saito, H., Fujita, M. & Ushikoshi, A. (1979.9) The role of ventromedial hypothalamus in the metabolic adaptation of glucose to the cold and heat exposure. *日本生理誌* **41**, 424
- 25) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 吉松佳寿子(1979.9) ダイコクネズミの発情期における LH 作用に対する性腺刺激ホルモンおよび Rhizopus 菌体成分処理の影響. *医学と生物学* **99**, 145-147
- 26) 瀬戸勝男, 斎藤英郎(1979.9) 肝の焦性ブドウ酸代謝に対する反復緊縛負荷の影響. *医学と生物学* **99**, 161-163
- 27) 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.10) ダイコクネズミの非発情第一日における LH 作用に対する卵巣ステロイド処理の影響. *医学と生物学* **99**, 201-203
- 28) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 吉松佳寿子(1979.10) 脳弓破壊ウサギの肝における酢酸代謝に対する反復緊縛負荷の影響. *医学と生物学* **99**, 229-231
- 29) 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 牛越淳夫(1979.11) 飢餓ヒツジの乳腺における酪酸代謝とクエン酸代謝との関係. *医学と生物学* **99**, 263-265
- 30) 梶 秀人, 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 吉松佳寿子(1979.11) 脳弓破壊ウサギの卵巣ステロイド生成に対する卵巣ステロイド処理の影響. *医学と生物学* **99**, 291-294
- 31) 梶 秀人, 瀬戸勝男, 吉松佳寿子, 斎藤英郎(1979.11) 視床下部腹内側核破壊ウサギの副腎皮質ホルモン生成に対する反復寒冷曝露の影響. *医学と生物学* **99**, 299-301
- 32) 藤田正範, 瀬戸勝男(1979.12) 正常ヒツジの乳腺におけるプロピオン酸代謝とフォーマル酸代謝との関係. *医学と生物学* **99**, 313-315
- 33) 梶 秀人, 瀬戸勝男, 斎藤英郎, 吉松佳寿子(1979.12) 肝の TCA サイクルに対する分界条破壊の影響. *医学と生物学* **99**, 339-342
- 34) 牛越淳夫, 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.12) 中枢神経障害時における生体の適応平衡成立に関する研究. 第三報脳諸部位の破壊時の肝における酢酸代謝に対する反復緊縛負荷の影響. *神奈川県総合リハビリテーションセンター紀要* **6**, 46-51
- 35) 牛越淳夫, 斎藤英郎, 瀬戸勝男(1979.12) 吸収性縫合糸の生体機能に対する作用. 第三報肝の解糖系に対する作用. *神奈川県総合リハビリテーションセンター紀要* **6**, 52-56
- 36) Seto, K., Saito, H. & Fujita, M. (1979.12) Effect of acupuncture on adrenocortical hormone production: I. Variation in the ability for adrenocortical hormone production in relation to the duration of acupuncture stimulation. *Am. J. Chinese Med.* **7**, 362-371

高知医科大学第二生理学教室

- 1)* Irimajiri, A., Doida, Y., Hanai, T. & Inouye, A. (1978.3) Passive electrical properties of cultured murine lymphoblast (L5178Y) with reference to its cytoplasmic membrane, nuclear envelope, and intracellular phases. *J. Membrane Biol.* **38**, 209-232
- 2)* Irimajiri, A., Hanai, T. & Inouye, A. (1978.9) Dielectric behavior of a "multi-layered" spherical shell model: A theory and its application to a lymphoma cell. *VI Intern. Biophys. cong. Abst.* 240
- 3)* Ogawa, M., Uyesaka, N., Okada, Y. & Inouye, A. (1978.9) Membrane potentials in isolated synaptosomes measured by means of cyanine dye. *VI Intern. Biophys. cong. Abst.* 151
- 4)* Asami, K., Hanai, T. & Koizumi, N. (1978.9) Dielectric properties of protoplasm, plasma membrane and cell wall in yeast cells. *VI Intern. Biophys. cong. Abst.* 389
- 5) 小川正晴(1979.4) Mg^{++} ・ATP による chromaffin 顆粒膜電位の脱分極と catecholamine 放出. 第56回日本生理学大会予稿集 49
- 6) Irimajiri, A., Hanai, T. & Inouye, A. ((1979.5) A dielectric theory of "multi-stratified shell" model with its application to a lymphoma cell. *J. theor. Biol.* **78**, 251-269
- 7) Ogawa, M. & Inouye, A. (1979.7) Responses of the transmembrane potential coupled to the ATP-evoked catecholamine release in isolated chromaffin granules. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 309-325
- 8) Sagawa, N., Nishimura, T., Ogawa, M. & Inouye, A. (1979.8) Electrogenic absorption of sugars and amino acids in the small intestine of the human fetus. *Membrane Biochem.* **21**, 393-404
- 9) Ogawa, M. (1979.9) Mg ・ATP-induced depolarization of granule membrane potential and release of epinephrine in isolated chromaffin granules. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 288
- 10) 小川正晴(1979.10) 副腎髓質クロマフィン顆粒からのカテコールアミン放出について. 第31回日本

- 生理学中国四国地方会予稿集 29
- 11) 花井哲也, 浅見耕司 (1979.10) 非球形生物細胞懸濁液の誘電挙動. 第32回コロイドおよび界面化学討論会講演要旨集 308
 - 12) 浅見耕司, 花井哲也 (1979.10) 大腸菌懸濁液の誘電挙動. 第17回日本生物物理学会年会予稿集 160
 - 13) Hanai, T., Asami, K. & Koizumi, N. (1979.11) Dielectric theory of concentrated suspensions of shell-spheres in particular reference to the analysis of biological cell suspensions. Bull. Inst. Chem. Res. Kyoto Univ. **57**, 297-305
- 愛媛大学医学部第一生理学教室**
- 1)* 登倉尋実, 大野拓夫 (1974.10) 野生環境から実験室への順応および温熱性代謝性反応からみた飼育管理. 実験動物 **23**, 283-284
 - 2)* 大野拓夫, 田先威和夫, 奥村純市 (1974.11) 飼料メチオニンレベルとニワトリの血漿遊離アミノ酸. 必須アミノ酸研究 **60**, **61**, 3-5
 - 3)* 大野拓夫, 茗荷 澄 (1975.1) アカゲザルおよびニホンザルの飼養標準の確立. 霊長類研究所年報 **4**, 43
 - 4)* 大野拓夫 (1975.12) 実験室環境下 (温度22℃, 湿度62~77%) におけるニホンザルの摂水量および摂食量. 霊長類研究所年報 **5**, 47
 - 5)* 田先威和夫, 大野拓夫 (1976.3) ニワトリにおける摂取蛋白質レベルと血漿および肝臓中遊離アミノ酸についての二, 三の考察. 必須アミノ酸研究 **68**, **69**, 2-5
 - 6)* Ohno, T. & Tasaki, I. (1976.3) Liver free amino acids in adult cockerels fed diets containing graded levels of protein. Nutr. Rep. Int. **13**, 247-252
 - 7)* Hori, R., Sunayashiki, K. & Kamiya, A. (1976.3) Pharmacokinetic analysis of renal handling of sulfamethizole. J. Pharm. Sci. **65**, 463-465
 - 8)* Ohno, T. & Tasaki, I. (1977.5) Relation between liver amino acid-catabolizing enzymes and free amino acids of liver and plasma in adult cockerels fed diets containing graded levels of protein. J. Nutr. **107**, 829-833
 - 9)* 檀原 宏, 平井昭司, 砂屋敷幸作, 野田克彦 (1978.5) 放射化分析法による四国沿岸産物中のセレンおよび水銀含量. 第32回日本栄養食糧学会一般講演要旨集 108
 - 10) 片岡喜由 (1979.2) 特集「神経伝達物質の同定」によせて. 生体の科学 **30**, 66
 - 11) Kataoka, K., Mizuno, N. & Froman, L. A. (1979.2) Regional distribution of immunoreactive neurotensin in monkey brain. Brain Res. Bull. **4**, 57-60
 - 12) Sorimachi, M. & Yoshida, K. (1979) Exocytotic release of catecholamines and dopamine- β -hydroxylase from the perfused adrenal gland of the rabbit and cat. Br. J. Pharmac. **65**, 117-125
 - 13) 反町 勝 (1979.4) 灌流副腎髄質よりの DBH の放出. 第56回日本生理学会大会予稿集 142
 - 14) 片岡喜由 (1979.4) 神経伝達物質に関する最近の知見. 第20回日本医学会総会口演要旨 28
 - 15) Kataoka, K., Bak, I. J. & Markham, A. H. (1979.6) Alteration in tyrosine hydroxylase, glutamic acid decarboxylase and choline acetyltransferase in basal ganglia following herpes simplex virus inoculation in rat neostriatum. Brain Res. **169**, 401-405
 - 16) Sunayashiki, K., Ohno, T., Sorimachi, M. & Kataoka, K. (1979.9) Neurotensin in nerve tissues of the rat. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 385
 - 17) 大野拓夫 (1979.10) 網膜及び視神経におけるグルタミン酸脱炭酸酵素活性. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 14
 - 18) 大野拓夫, 吉田浩己 (1979.10) 遺伝性無毛症 (ラット, Atrichosis). 川俣順一・松下宏編疾患モデル動物ハンドブック, 医歯薬出版, 東京 456-459
- 愛媛大学医学部第二生理学教室**
- 1) 須田武雄, 前田信治, 志賀 健 (1979.3) 赤血球膜の流動性におよぼす膜蛋白重合化の影響. 日本生理誌 **41**, 81
 - 2) Shiga, T., Maeda, N., Suda, T., Kon, K. & Sekiya, M. (1979.5) The decreased membrane fluidity of in vivo aged, human erythrocytes. A spin label study. Biochim. Biophys. Acta **553**, 84-95
 - 3) 須田武雄, 前田信治, 昆 和典, 関谷美鈴, 志賀 健 (1979.5) 赤血球膜コレステロール増加による機能低下. 第1回日本膜学会年次大会予稿集 61
 - 4) 須田武雄, 昆 和典, 前田信治, 志賀 健 (1979.6) 赤血球浮遊液粘度に及ぼす膜コレステロールの影響. 第2回日本バレオレオロジー学会予稿集 45
 - 5) 須田武雄, 昆 和典, 前田信治, 志賀 健 (1979.7) 赤血球膜変形態に及ぼす膜コレステロールの影響. 脂質生化学研究 **21**, 298
 - 6) 昆 和典, 須田武雄, 前田信治, 志賀 健 (1979.8) 赤血球の脱酸素化速度に及ぼす膜コレステロール量の影響. 生化学 **51**, 621
 - 7) 前田信治, 昆 和典, 志賀 健 (1979.8) Pyridoxal 5'-phosphate (PLP) による ACD 保存血の酸素運搬機能の修復. 生化学 **51**, 911
 - 8) Kon, K., Maeda, N., Suda, T. & Shiga, T. (1979.9) Effect of membrane cholesterol on the oxygen egress from red cells. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 280
 - 9) Maeda, N., Kon, K., Suda, T. & Shiga, T. (1979.9) Effect of pyridoxal phosphate on the oxygen transport function of ACD-stored blood. J. Physiol. Soc. Japan **41**, 399

- 10) Maeda, N., Kon, K., Sekiya, M. & Shiga, T. (1979.9) Restoration of the poor oxygen transport function of ACD-stored blood by pyridoxal 5'-phosphate. *Experientia* **35**, 1245-1246
- 11) 須田武雄, 昆 和典, 前田信治, 志賀 健 (1979.10) 赤血球膜内スピンラベルの運動性に及ぼす二, 三の薬剤の効果. 第18回E S R討論会講演要旨集 48
- 12) 須田武雄, 前田信治, 昆 和典, 関谷美鈴, 志賀 健 (1979.10) 赤血球膜コレステロールと機能との関係. 第17回日本生物物理学会年会予稿集 342
- 13) 前田信治, 昆 和典, 須田武雄, 志賀 健 (1979.10) 赤血球の酸素運搬能に対するピリドキサールリン酸およびその誘導体の効果. 第31回日本生理学会中国四国地方会予稿集 13
- 14) Shiga, T., Maeda, N., Suda, T., Kon, K., Sekiya, M. & Oka, S. (1979.10) Rheological and kinetic dysfunction of the cholesterol-loaded, human erythrocytes. *Biorheology* **16**, 363-369
- 15) Shiga, T., Maeda, N., Suda, T., Kon, K., Sekiya, M. & Oka, S. (1979.12) A kinetic measurement of red cell deformability: A modified micropipette aspiration technique. *Jap. J. Physiol.* **29**, 707-722
- 9) 穎原嗣尚, 稲沢 実 (1979.4) モルモット心室乳頭筋の内向き電流と外向き電流. *日本生理誌* **41**, 97
- 10) 稲沢 実, 穎原嗣尚, 後藤昌義 (1979.4) 脱分極心筋の興奮収縮の Ba^{2+} イオンによる安定化. *日本生理誌* **41**, 97-98
- 11) 孫 欽明, 津田泰夫, 後藤昌義 (1979.4) イソプロテレノール (Isop) の心筋作用におよぼす温度効果・カエル心房筋の膜電流, 張力要素における解析. *日本生理誌* **41**, 98
- 12) 後藤昌義, 河田 博, 今永一成, 有田 真 (1979.5) 概説生理学—植物的機能編一. 南江堂, 東京
- 13) Goto, M., Yatani, A. & Ehara, T. (1979.5) Interaction between caffeine and adenosine on the membrane current and tension component in the bullfrog atrial muscle. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 393-409
- 14) Tsuda, Y., Yatani, A. & Goto, M. (1979.6) Effects of calcium ionophore X-537A on frog atrial muscle. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 375
- 15) Kiyosue, T., Arita, M. & Imanishi, S. (1979.6) Effects of coenzyme Q_{10} on action potential and contraction during metabolic inhibition in guinea pig ventricular muscle. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 382
- 16) Yatani, A., Fujino, T. & Goto, M. (1979.7) Effects of excess lactate on the membrane current and tension components of bullfrog atrial muscle. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **11**, 62
- 17) Ehara, T. & Inazawa, M. (1979.8) Facilitation by barium of calcium-dependent slow action potentials in guinea pig ventricular muscle. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **11**, 66
- 18) Goto, M., Tsuda, Y. & Yatani, A. (1979.10) Effects of ionophore X-537A and Ca ions on frog atrial muscle. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **11**, 67

九州大学医学部第二生理学教室

- 1) Tsuda, Y. (1979.3) The nature of the initial positive inotropic effect of K-depletion in bullfrog atrial muscle. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 103-117
- 2) Aomine, M. (1979.3) The time-dependent and dose-dependent effect of the sulfhydryl blocker N-ethylmaleimide on the tonic tension in bullfrog atrium. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 131-138
- 3) 後藤昌義, 穎原嗣尚 (1979.3) 心筋の slow channel. *医学のあゆみ* **108**, 1085-1094
- 4) Arita, M., Goto, M., Nagamoto, Y. & Saikawa, T. (1979.4) Electrophysiological actions of mexiletine (Kö1173) on canine Purkinje fibers and ventricular muscle. *Br. J. Pharmac.* **67**, 143-152
- 5) 津田泰夫, 八谷アツ子, 後藤昌義 (1979.4) カエル心房筋におよぼす X537A の効果. 第56回日本生理学会大会予稿集 30
- 6) 清末達人, 有田 真, 今西 愿 (1979.4) 代謝阻害心筋活動電位と収縮張力に及ぼす Coenzyme Q_{10} の効果. 第56回日本生理学会大会予稿集 91
- 7) 八谷アツ子, 藤野孝雄, 後藤昌義 (1979.4) アデノシンの心筋膜電流および張力要素におよぼす影響. *日本生理誌* **41**, 96-97
- 8) 清末達人, 有田 真, 今西 愿 (1979.4) 低酸素液灌流によるモルモット心室筋活動電位の短縮と収縮張力の減弱に対する Co-enzyme Q_{10} の回復効果. *日本生理誌* **41**, 97

九州大学歯学部生理学教室

- 1) Nohmi, M. & Kuriyama, H. (1979) Topical difference of myosin B, extracted from smooth muscle of the rabbit stomach, in ATPase activity and rate of superprecipitation. *Int. J. Biochem.* **10**, 39-46
- 2) Rüeg, J. C., Güth, K., Kuhm, H. J., Herzig, J. W., Griffiths, P. J. & Yamamoto, T. (1979) Muscle stiffness in relation to tension development of skinned striated muscle fibers. in *Cross-Bridge Mechanism in Muscle Contraction* (ed. Sugi, H. & Pollack, G. H.) 126-148
- 3) Ohta, M. & Oomura, Y. (1979) Monosynaptic facilitatory pathway from the hypothalamic ventromedial nucleus to the frontal cortex in the rat. *Brain Res. Bull.* **4**, 223-229
- 4) Ohta, M. & Oomura, Y. (1979) Inhibitory

- pathway from the frontal cortex to the hypothalamic ventromedial nucleus in the rat. *Brain Res. Bull.* **4**, 231-238
- 5) 笹本一茂(1979)ラット咀嚼筋運動ニューロンへの大脳皮質性入力. *日本生理誌* **41**, 105
 - 6) Ohta, M. & Sasamoto, K.(1979)Cortical projection to masticatory motoneurons in the rat. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 315
 - 7) Sasamoto, K.(1979)Motor nuclear representation of masticatory muscle in the rat. *Jap. J. Physiol.* **29**, 739-747
 - 8) 太田雅博, 笹本一茂(1979)ラット大脳皮質の咀嚼筋運動ニューロンへの投射. *歯基礎誌* **21**, 244-245
 - 9) 太田雅博, 笹本一茂, 佐伯和雄(1979)ラット大脳皮質三叉神経運動核投射路. *歯基礎誌* **21**, 276
- 福岡大学医学部第一生理学教室**
- 1) 今永一成, 金田能子, 宮川紀子(1979)温血動物心臓の Inotropism と Chronotropism におよぼす Dobutamine, Dopamine および Isoproterenol の作用比較. *Folia Pharmacol. Japan* **75**, 147-157
 - 2) 今永一成(1979)V. 体液性調節 第十一章 内分泌, 第十二章 特殊ホルモン. 概説生理学・植物的機能編後藤昌義編, 南江堂 182-229
 - 3) Imanaga, I. Kaneda, T. & Togashi, T. (1979) Effects of insulin on the mammalian myocardium (IX): correlation between intracellular c-AMP and membrane Na⁺-K⁺ ATPase activity with reference to a positive inotropic action of insulin. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 377
 - 4) Imanaga, I. (1979) Effect of insulin on sodium pump activity of mammalian myocardium. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **11**(suppl.3), 63
 - 5) 今永一成(1979) Insulin の心筋への作用—陽性変力作用機序について—. *福岡大医学紀要* **6**, 225-236
 - 6)* 徳納博幸, 坂本康二, 富田忠雄(1978)モルモット胃壁の輪走筋に対するKイオン除去の効果. *日本平滑筋誌* **14**, 234-235
 - 7)* 坂本康二(1978)モルモット胃の輪走筋に対するMnイオンの効果. *日本平滑筋誌* **14**, 235-236
 - 8) Sakamoto, Y., Tomita, T. & Tokuno, H.(1979) Depolarization produced by Na removal in the circular muscle of guinea-pig stomach. *日本生理誌* **41**, 373
 - 9) Usune, S. & Tomita, T. (1979) Contribution of calcium to the adrenaline response in the guinea-pig taenia coli. *日本生理誌* **41**, 373
 - 10) 富田忠雄, 那須康典, 山元章生(1979)カテコールアミンの作用機序 VIII. 血管平滑筋. *福岡大医学紀要* **6**, 5-17
 - 11) 江頭啓介, 坂本康二, 富田忠雄(1979)カテコールアミンの作用機序 IX. 唾液腺, 涙腺, 肝臓. *福岡大医学紀要* **6**, 117-127
 - 12) 那須康典, 坂本康二, 徳納博幸, 富田忠雄(1979)平滑筋に対するカテコールアミンβ作用とNaイオンの関与. *日本生理誌* **41**, 96
 - 13) 江頭啓介(1979)モルモット肝切片に対するノルアドレナリンの作用機序. *日本生理誌* **41**, 101
- 福岡大学医学部第二生理学教室**
- 1) Hatae, J. (1979.2) Effects of procaine on the ventricular muscle of bullfrog. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 25-36
 - 2) 河田 博(1979.4)無 Na 液中におけるカエル心室筋の収縮性. *日本生理誌* **41**, 96
 - 3) 喜多孝子(1979.4)カエル骨格筋の膜コンダクタンスおよび epp amplitude におよぼす pH 効果. *日本生理誌* **41**, 101
 - 4) Atwell, D., Cohen, I., Eisner, D., Ohba, M. & Ojeda, C. (1979) The steady state TTX-sensitive ("window") sodium current. *Pflügers Arch.* **379**, 137-142
 - 5) Kita, T. (1979.8) Effects of chemical modification on frog neuromuscular junction. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 304
 - 6) Ohba, M. (1979.8) Effects of sodium salicylate on the guinea-pig papillary muscle. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**, 381
 - 7) Kawata, H. (1979.10) Contractility of the frog ventricular myocardium in sodium-free lithium solution. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 609-625
 - 8) DiFrancesco, D., Ohba, M. & Ojeda, C. (1979) Measurement and significance of the reversal potential for the pace-maker current (i_{k2}) in sheep Purkinje fibres. *J. Physiol.* **297**, 135-162
 - 9) Cohen, I., Noble, D., Ohba, M. & Ojeda, C. (1979) Action of salicylate ions on the electrical properties of sheep cardiac Purkinje fibres. *J. Physiol.* **297**, 163-185
 - 10) Cohen, I., Noble, D., Ohba, M. & Ojeda, C. (1979) The interaction of ouabain and salicylate of sheep cardiac muscle. *J. Physiol.* **297**, 187-205
- 福岡歯科大学生理学教室**
- 1) 野田憲一(1979.3)舌尖の二点識別閾を以てする錯覚の中樞機序の模索. *福歯大誌* **6**, 23-29
 - 2) 鮫島千織, 野田憲一, 副田博之, 山本佳津枝, 渡辺京子(1979.3)カエル舌の水応答についての一実験(抄). *福歯大誌* **6**, 172-173
 - 3) 野田憲一, 副田博之, 山本佳津枝, 鮫島千織, 渡辺京子(1979.4)表情を体表微小振動よりみる(抄). *日本生理誌* **41**, 337
 - 4) 野田憲一, 副田博之, 山本佳津枝, 鮫島千織, 渡辺京子, 永田正宣(1979.7) Physiological investigation of facial expression from the viewpoint of the change in minor tremor pattern. *福歯大誌* **6**, 211-225

- 5) 浅田英文, 野田憲一(1979.7)ヒトの口腔における可測部の表面温度の分布. 福歯大誌 **6**, 297-304
- 6) 山本佳津枝, 野田憲一, 副田博之, 鮫島千織, 渡辺京子(1979.8)オトガイ舌骨筋(食用ガエル)収縮特性補遺(抄). 歯基礎誌 **21**, 127

九州歯科大学生理学教室

- 1) 仲西 修, 山田長敬, 中原 敏(1979.7)顔面筋支配の顔面神経の求心性信号と反射. 九州歯会誌 **33**(2), 195
- 2) 仲西 修(1979.4)ラット顔面筋支配の顔面神経求心性信号と反射. 九州歯会誌 **33**(4), 367-375
- 3) 仲西 修, 中村修一, 大曲統司明, 中原 敏(1979.8)顔面筋支配の顔面神経求心性信号と反射. 歯基礎誌 **21**(補冊), 279
- 4) 豊島邦昭, 島村昭辰, 本田栄子, 中原 敏(1979.8)神経切断後のカエル味覚器の変化に関する研究. 歯基礎誌 **21**(補冊), 289

産業医科大学第一生理学教室

- 1) Kannan, H. & Koizumi, K. (1979.4) Input to the neurosecretory neurons of the supraoptic nuclei (SON) from the sinus and aortic nerves. Fed. Proc. **38**, 982
- 2) Koizumi, K. Yamashita, H., Kollai, M. & Brooks, C. McC. (1979.6) Differential responses in the reflex action; The question of blood volume and pressure control. Integrative Functions of the Autonomic Nervous System. Ed. by C. McC. Brooks, K. Koizumi & A. Sato, Univ. of Tokyo Pr. and Elsevier/North-Holland Biomedical Pr. 293-308
- 3) Yamashita, H. & Koizumi, K.(1979.7)Influence of carotid and aortic baroreceptors on neurosecretory neurons in supraoptic nuclei. Brain Res. **170**, 259-277
- 4) 山下 博(1979.8)抑制ホルモンとしてのアミン性物質の役割—下垂体ホルモン分泌に果たす生体アミンおよび循環系受容体の働き—. 神経研究の進歩 **23**(4), 701-710
- 5) Yamashita, H. & Koizumi, K. (1979.9) Influence of carotid and aortic baroreceptors on neurosecretory neurons in supraoptic nuclei. 日本生理誌 **41**, 410
- 6) Yamashita, H. Koizumi, K. & Brooks, C. McC. (1979.12) Rhythmic patterns of discharge in hypothalamic neurosecretory neurons of cats and dogs. Proc. Natl. Acad. Sci. USA **76**, 6684-6688

産業医科大学第二生理学教室

- 1) 佐川寿栄子, 白木啓三(1979.5)血液 pH 変化に伴う赤血球膜性状について—in vitro 実験. 第33回日本栄養・食糧学会総会講演要旨集 96
- 2) Shiraki, K. & Sagawa, S. (1979) Effect of blood pH on the phospholipids of the erythrocytes

in rats. 日本生理誌 **41**, 398

- 3) Shiraki, K. & Morimoto, T. (1979) Comparison of subcutaneous protein transport due to exercise and heat. Medicine and Science in Sports **11**, 98
- 4) Morimoto, T., Shiraki, K., Miki, K. & Tanaka, Y. (1979) Effect of exercise and thermal stress on subcutaneous protein transport. Jap. J. Physiol. **29**, 569-577
- 5) Konda, N., Dyer, R. G., Bruhn, T., MacDonald, A. A. & Ellendorff, F. (1979) A method for recording single unit activity from the brains of foetal pigs in utero. J. Neurosci. Methods **1**, 289-300
- 6) Ellendorff, F., Konda, N., Macleod, N. & Reinhardt, W. (1979) Olfactory perception in brain unit responses to pheromones. Acta endocr. (Kbh.) **91**(Suppl. 225), 428

久留米大学医学部生理学第一講座

- 1) Nishi, S. (1979) The catecholamine-mediated inhibition in ganglionic transmission. Integrative functions of the autonomic nervous system. Ed. C. McC. Brooks, K. Koizumi, & A. Sato, Univ. of Tokyo Press (Tokyo), Elsevier/North-Holland Biomedical Press (Amsterdam) 223-233
- 2) 中村 純, 西 彰五郎, 稲永和豊(1979)ドーパミンおよびアセチルコリン受容体に対する向精神薬の作用. 脳研究会誌 **5**, 28-29
- 3) North, R. A., Katayama, Y. & Williams, J. T. (1979) On the mechanism and site of action of enkephalin on single myenteric neurons. Brain Res. **165**, 67-77
- 4) Kuba, K. & Nishi, S. (1979) Characteristics of fast excitatory postsynaptic current in bullfrog sympathetic ganglion cells. Pflügers Arch. **378**, 205-212
- 5) 中村 純, 西 彰五郎(1979)交感神経節のドーパミンおよびアセチルコリン受容体に対する neuroleptics の作用. 日本生理誌 **41**, 98
- 6) Higashi, H. & Nishi, S. (1979) Characterization of 5-HT receptors on vagal afferent neurons in rabbits. 日本生理誌 **41**, 299
- 7) Nishi, S., Nakamura, J. & Katayama, Y. (1979) Non-cholinergic ganglionic transmission and peptides. 日本生理誌 **41**, 303
- 8) Higashi, H. & Nishi, S. (1979) The effect of barbiturates on the GABA receptor of cat primary afferent neurons. Integrative Control Functions of the Brain II. Ed. M. Ito, N. Tsukahara, K. Kubota, & K. Yagi, Kodansha, Tokyo/Elsevier 18-19
- 9) 東 英穂, 西 彰五郎(1979)神経系におけるドーパミンと γ -アミノ酪酸 —その分布, 作用と受容体—. 精神神経薬理 **1**, 131-159

- 10) Kojima, H., Anraku, S., Higashi, H. & Nishi, S. (1979) The fluorescence histochemical study on cellular localization of monoamines in rabbit nodose ganglia. *Acta Histochem. Cytochem.* **12**, 576
- 11) 東 英穂(1979)内臓性第1次知覚神経細胞のセロトニン受容体. *久留米医誌* **42**, 1204-1220
- 12) Williams, J. T., Katayama, Y. & North, R. A. (1979) The action of neurotensin on single myenteric neurones. *Eur. J. Pharmacol.* **59**, 181-196
- 13) Katayama, Y., North, R. A. & Williams, J. T. (1979) The action of substance P on neurons of the myenteric plexus of the guinea-pig small intestine. *Proc. R. Soc. Lond. B* **206**, 191-208
- 14) 小田原健一(1979)心房内迷走神経遠心性終末のニコチン性受容体. *久留米医誌* **42**, 1239-1251
- 15) 吉村 恵(1979)交感神経節細胞の緊張性および反射性活動. *久留米医誌* **42**, 1221-1238
- 9) Morita, K. (1979.8) The effect of adenosine triphosphate on the electrogenic Na-pump of visceral nerve fibres in bullfrogs. *Kurume Med. J.* **26**(2), 87-91
- 10) Kuba, K. (1979) Ca²⁺ and the action of acetylcholine on the subsynaptic membrane. (A Wiley Medical Publication, John Wiley & Sons, New York-Chichester-Brisbane-Toronto. ed. Otsuka, M. & Hall, Z. W.) *Neurobiol. of Chemical Transmission* 53-64
- 11) Morita, K., Kuba, K. & Koketsu, K. (1979.9) Effects of anions on the linkage between the intracellular release of Ca²⁺ and K⁺ permeability of the membrane in sympathetic ganglion cells. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 296
- 12) Ohta, Y. & Kuba, K. (1979.9) Is there an inhibitory mechanism on transmitter release at the motor nerve terminal?. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 306
- 13) Koketsu, K. & Minota, S.(1979.9)An acceleration of the electrogenic Na pump in bullfrog atrium muscle fibres. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 441
- 14) 平井恵二, 額額教三 (1979.10) ウシ蛙交感神経節前線維終末からの ACh 遊離に対する 5-HT の促進作用. 第31回日本生理学会中国・四国地方会, 第30回西日本生理学会予稿集 p. 17
- 15) 久場健司, 森田喜一郎 (1979.10) ウシガエル交感神経節細胞の活動電位の後電位の発生機序. 第31回日本生理学会中国・四国地方会, 第30回西日本生理学会予稿集 p. 17
- 16) 時政孝行, 蓮尾 博, 額額教三 (1979.10) ウシ蛙心房筋に対するアセチルコリンの作用. 第31回日本生理学会中国・四国地方会, 第30回西日本生理学会予稿集 p. 26
- 17) 宮川美知子, 額額教三, 箕田昇一 (1979.10) ウシ蛙交感神経節前線維終末からの ACh 遊離に対する反回抑制. 第31回日本生理学会中国・四国地方会, 第30回西日本生理学会予稿集 p. 27
- 18) Morita, K., Kato, E. & Kuba, K. (1979) A possible role of intracellular Ca²⁺ in the regulation of the ACh receptor-ion channel complex of the sympathetic ganglion cell. *Kurume Med. J.* **26**(4), 371-376
- 19) Tokimasa, T., Hasuo, H., Koketsu, K. & Minota, S. (1979) Desensitization of bullfrog atrium muscle of the muscarinic action of acetylcholine on its action potential. *Kurume Med. J.* **26**(4), 377-379

久留米大学医学部第二生理学教室

- 1)* 山田茂人, 久原とみ子, 新家敏弘, 松本 勇, 久場健司, 加藤栄司 (1978.11) ウシガエル血漿中の GABA の定量 (Mass fragmentographic quantitation of γ -aminobutyric acid in bullfrog plasma) 第3回医用マス研究会講演集 (Proc. Third Meet. Japan. Soc. Med. Mass Spectrometry) **3**, 237-242
- 2) Kuba, K. & Nishi, S. (1979) Characteristics of fast excitatory postsynaptic current in bullfrog sympathetic ganglion cells—Effects of membrane potential, temperature and Ca ions. *Pflügers Arch.* **378**, 205-212
- 3) Akasu, T. & Karczmar, A. G. (1979.3) Further studies of the effect of NaF on desensitization of frog endplate. *Fed. Proc.* **38**(3) Part 1, 430
- 4) 加藤栄司, 久場健司(1979.4)カエル交感神経節における GABA のシナプス前抑制機序. *日本生理誌* **41**(4), 98-99
- 5) 森田喜一郎, 額額教三(1979.4)ウシガエル神経線維の electrogenic Na-pump に対するカテコールアミンの作用. *日本生理誌* **41**(4), 99
- 6) 額額教三(1979.6)モノアミンの膜電位制御作用 (Actions of monoamines on the cell membrane potential). *脳研究会誌* **5**(2), 199-204
- 7) Morita, K. & Koketsu, K. (1979.6) An analysis of the effect of adrenaline on electrogenic Na⁺ pump of visceral nerve fibers in bullfrogs. *Jap. J. Physiol.* **29**(3), 239-250
- 8) Minota, S. & Koketsu, K. (1979.6) Activation of the electrogenic Na-pump of cardiac muscle fibres by ACh in K-free solutions. *Experientia* **35**(6), 772-773

大分医科大学医学部第一生理学教室

- 1)* Yamada, K. (1978,9) The enthalpy titration of troponin C with calcium. Workshop on Biocalorimetry, Satellite Meeting of the Sixth International Biophysics Congress, Abstracts 6

- 2) Tsuchiya, T., Sugi, H., & Kometani, K. (1979) Isotonic velocity transients and enhancement of mechanical performance in frog skeletal muscle fibers after quick increase in load. Cross-Bridge Mechanism in Muscle Contraction ed. Sugi, H. & Pollack, G. H., Univ. Tokyo Press 225-240
- 3) Kodama, T. & Yamada, K. (1979) An explanation of the shortening heat based on the enthalpy profile of the myosin ATPase reaction. Cross-Bridge Mechanism in Muscle Contraction ed. Sugi, H. & Pollack, G. H., Univ. Tokyo Press 481-488
- 4) Shimizu, H., Yano, M., Nishiyama, K., Kometani, K., Chaen, S. & Yamada, T. (1979) Active potential and dynamic cooperativity in the chemo-mechanical conversion in active streaming and muscle contraction. Cross-Bridge Mechanism in Muscle Contraction ed. Sugi, H. & Pollack, G. H., Univ. Tokyo Press 563-591
- 5) Irving, M., Woledge, R. C. & Yamada, K. (1979. 8) The heat produced by frog muscle in a series of contractions with shortening. *J. Physiol.* **293**, 103-118
- 6) Yamada, K. (1979. 9) Thermodynamics of Ca^{2+} binding to troponin-C relating to the activation heat production of muscle. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8, 9), 370
- 7) 茶園 茂, 米谷快男, 山田武範 (1979. 10) 種々の基質環境下におけるグリセリン処理家ウサギ腸腰筋の収縮活性. 第17回日本生物物理学会予稿集 66
- 8) 山田和広, 米谷快男 (1979. 10) 筋収縮制御蛋白のカルシウム結合の熱測定. 第15回熱測定討論会講演要旨集 32-33
- 大分医科大学医学部第二生理学教室**
- 1) 清末達人, 有田 真, 今西 愿 (1979. 4) 低酸素液灌流によるモルモット心室筋活動電位の短縮と収縮張力の減弱に対する Coenzyme Q_{10} の回復効果. *日本生理誌* **41**, 97
- 2) Aomine, M. (1979. 4) The time-dependent and dose-dependent effects of sulfhydryl blocker N-ethylmaleimide on the tonic tension in bullfrog atrium. *Jpn. J. Physiol.* **29**, 131-138
- 3) 有田 真 (1979. 5) 第4章血液循環の生理(心電図, 心音と心音図) 第9章体温. 「概説生理学(上巻)一植物的機能編一」後藤昌義編著, 南江堂 76-88, 160-166
- 4) 有田 真 (1979. 7) 非交感神経性アミンの心筋作用—アナフィラキシーショック心における電気生理学的検討—. *臨牀と研究* **56**, 2276-2277
- 5) Kiyosue, T., Arita, M. & Imanishi, S. (1979. 8) Effects of Coenzyme Q_{10} on action potential and contraction during metabolic inhibition in guinea pig ventricular muscle. *日本生理誌* **41**, 382
- 6) Arita, M., Goto, M., Nagamoto, Y. & Saikawa, T. (1979. 9) Electrophysiological actions mexiletine (Kö 1173) on canine Purkinje fibres and ventricular muscle. *Br. J. Pharmac.* **67**, 143-152
- 7) 有田 真 (1979. 9) 不整脈の発生機序. *治療学* **3**, 280-288
- 8) Arita, M., Kiyosue, T., Imanishi, S. & Aomine, M. (1979. 10) Coenzyme Q_{10} reverses action potential and contraction change caused by metabolic inhibition in guinea pig ventricular muscle. *J. Mol. Cell. Cardiol.* **11**(Suppl. 3), 64
- 9) 蔵田恵美子, 平田宗隆, 金谷庄蔵, 今西 愿, 安田英雄, 藤野武彦, 伊東盛夫 (1979. 12) UCGによる右心機能の研究 第一報—右心房径の計測. *日本循環器誌* **43**(Suppl. 1), 137
- 10) 稲沢 実, 藤野武彦, 金谷庄蔵, 蔵田恵美子, 平田宗隆, 今西 愿, 安田英雄, 伊東盛夫 (1979. 12) 二方向同時記録 UCG (Bidirectional Echocardiography) による心機能評価. 第2報: STI, IRT. *日本循環器誌* **43**(Suppl. 1), 137
- 11) 藤野武彦, 金谷庄蔵, 稲沢 実, 蔵田恵美子, 平田宗隆, 今西 愿, 安田英雄, 伊東盛夫 (1979. 12) 二方向同時記録 UCG (Bidirectional Echocardiography) による心機能評価. 第3報: 左心機能について. *日本循環器誌* **43**(Suppl. 1), 137
- 12) 金谷庄蔵, 安田英雄, 上野照紀, 藤野武彦, 今西 愿, 平田宗隆, 蔵田恵美子, 伊東盛夫 (1979. 12) 洞房伝導の電気生理学的研究(第一報)—抗不整脈剤の影響—. *日本循環器誌* **43**(Suppl. 1), 151
- 13) 有田 真, 犀川哲典, 永元康夫 (1979. 12) カリウム透過性増大による Verapamil の心室筋自動能抑制効果について. *日本循環器誌* **43** (Suppl. 1), 151-152
- 14) 永元康夫, 犀川哲典, 有田 真 (1979. 12) 高 K^+ 液灌流時にみられる時間依存性心室内伝導遅延. *日本循環器誌* **43**(Suppl. 1), 151-152
- 15) 有田 真 (1979. 12) 頻脈性不整脈の基礎と臨床—解析の基礎. 第2回中部循環器シンポジウム抄録集 3
- 16) Arita, M., Kiyosue, T. & Imanishi, S. (1979. 12) Effects of Coenzyme Q_{10} on action potentials and contractions during metabolic inhibition in isolated guinea pig ventricular muscle. *Biomedical and Clinical Aspect II*
- 17) 今西 愿, 有田 真 (1979. 12) 不整脈の発生機序—Ca current との関連において—. *Ca-antagonists 薬理と臨床* 157-182
- 佐賀医科大学生理学第一講座**
- 1)* Hori, T. & Harada, Y. (1978. 9) Hyperthermic effects of disodium edetate injected into hy-

- pothalamus. *Int. J. Biometeorol.* **22**, 333-334
- 2) 堀 哲郎 (1979.2) 体温調節の中樞機構。「自律機能の適応に関する研究」抄録 33
 - 3) 堀 哲郎, 統 修二 (1979.3) 体温調節行動における脳の統御機能. 特定研究「脳の統御機能」報告書 **2**, 269-270
 - 4) 堀 哲郎, 篠原克明, 統 修二 (1979.4) 前視床下部温度感受性ニューロンの生後発達. *日本生理誌* **41**, 109
 - 5) 堀 哲郎, 篠原克明, 統 修二 (1979.4) 幼若ラット体温調節におよぼすキャプサイシンの効果. *日本生理誌* **41**, 109
 - 6) 堀 哲郎, 統 修二, 篠原克明 (1979.4) 出生直後にキャプサイシン脱感作をうけたラットの行動性体温調節. *日本生理誌* **41**, 110
 - 7) Hori, T. (1979.6) Hypothalamic self-cooling behavior in the rat. *Int. J. Biometeorol.* **23**, 152-153
 - 8) Kiyohara, T. (1979.7) Development of pump electrogenesis in hypokalemic rat muscles. *Kumamoto Med. J.* **32**, 43-48
 - 9) Shibata, M. & Russell, I. S. (1979.7) A retracting wire knife for cutting fiber bundles and making sheet lesions of brain tissue. *Physiol. Behav.* **23**, 201-205
 - 10) Hori, T. & Tsuzuki, S. (1979.8) Thermosensitivity of preoptic neurons in the capsaicin-desensitized rat. *J. Physiol. Soc. Japan.* **41**, 430
 - 11) Hori, T. & Tsuzuki, S. (1979.8) Thermoregulatory behavior of rats desensitized by capsaicin in the early postnatal life. *J. Physiol. Soc. Japan.* **41**, 445
 - 12) Kiyohara, T. & Akaike, N. (1979.8) Development of pump electrogenesis in hypokalemic rat soleus muscle. *J. Physiol. Soc. Japan.* **41**, 291
 - 13) Hori, T. & Shinohara, K. (1979.9) Hypothalamic thermo-responsive neurones in the new-born rat. *J. Physiol. (Lond.)* **294**, 541-560
 - 14) 中島敏博, 堀 哲郎, 堀 信頭, 清原寿一, 柴田政章 (1979.10) 視床下部薄切片における温度感受性ニューロン. 第30回西日本生理学会予稿集 19
 - 15) 清原寿一, 堀 哲郎, 柴田政章, 中島敏博 (1979.10) 内側前脳束電気刺激に対する視床前野温度感受性ニューロンの反応. 第30回西日本生理学会予稿集 35
 - 16) 堀 哲郎, 清原寿一, 中島敏博, 柴田政章 (1979.10) キャプサイシンに対する中脳網様体温度感受性ニューロンの反応. 第30回西日本生理学会予稿集 36
 - 17) 柴田政章, 堀 哲郎, 清原寿一, 中島敏博 (1979.10) ラットの行動に対する大脳皮質伝播性抑制の効果. 第30回西日本生理学会予稿集 36
 - 18) 堀 哲郎, 統 修二 (1979.10) 新生仔ラットの体温におよぼすキャプサイシンの効果. *日本生気象誌* **16**(1), 3-7
 - 19) 堀 哲郎 (1979.10) 温度適応形成における視床下部温度感受性ニューロンの役割—従来の経過と今後の方向. 「暑熱寒冷順化の形成過程」昭和54年度第1回班会議研究報告 1-2
 - 20) 堀 哲郎, 原田温子 (1979.11) Midbrain neuronal responses to local and spinal cord temperatures. 熊本大体質医研報告 **30**, 32
 - 21) 堀 哲郎, 原田温子 (1979.11) Responses of midbrain raphe neurons to local temperature. 熊本大体質医研報告 **30**, 33
 - 22) 堀 哲郎, 原田温子, 中山昭雄, 鈴木正利, 登倉尋実, 西尾 晃 (1979.11) Febrile responses of Japanese macaques to endotoxin and prostaglandin E₁. 熊本大体質医研報告 **30**, 34
 - 23) 堀 哲郎, 中山昭雄, 登倉尋実, 原文江, 鈴木正利 (1979.11) Thermoregulation of the Japanese macaque living in a snowy mountain area. 熊本大体質医研報告 **30**, 35
 - 24) 堀 哲郎, 篠原克明 (1979.11) Hypothalamic neurons responding to temperature in the new-born rat. 熊本大体質医研報告 **30**, 36
 - 25) 柴田政章, 堀 哲郎, 清原寿一, 中島敏博 (1979.11) 体温調節オペラント行動に対する大脳皮質伝播性抑制の効果. *日本生気象誌* **16**(2), 31
 - 26) 清原寿一, 堀 哲郎, 柴田政章, 中島敏博 (1979.11) 視床前野温度感受性ニューロンに対する内側前脳束刺激の効果. *日本生気象誌* **16**(2), 32
 - 27) 堀 哲郎, 清原寿一, 中島敏博, 柴田政章 (1979.11) 中脳網様体ニューロンに対する温度およびキャプサイシンの効果. *日本生気象誌* **16**(2), 33
 - 28) 中島敏博, 堀 哲郎, 清原寿一, 柴田政章 (1979.11) 摘出したラット視床前野における温度感受性ニューロン. *日本生気象誌* **16**(2), 34
 - 29) 堀 哲郎 (1979.11) 行動性体温調節. 第32回日本自律神経学会総会シンポジウム抄録 7
 - 30) Hori, T. (1979.12) The multiplicative integration of thermal informations in thermoregulatory operant behavior. *Integrative Control Functions of the Brain.* (Ed. by Ito, M., Tsukahara, N., Kubota, K. & Yagi, K.) Kodansha, Tokyo/Elsevier, Amsterdam. **2**, 343-344

佐賀医科大学第二生理学教室

- 1) Kuba, K. (1979) Ca²⁺ and the action of acetylcholine on the subsynaptic membrane. *Neurobiol. of chemical transmission.* ed. by M. Otsuka & Z. Hall. John Wiley & Sons. N. Y. 53-64
- 2) Kuba, K. & Nishi, S. (1979) Characteristics of fast excitatory postsynaptic current in bullfrog sympathetic ganglion cells, Effects of membrane potential, temperature and Ca ions. *Pflügers Archiv.* **378**, 205-212
- 3) Minota, S. & Koketsu, K. (1979) Activation of

- the electrogenic Na-pump of cardiac muscle fibers. *Experientia* **35**, 772-773
- 4) Tokimasa, T., Hasuo, H., Koketsu, K. & Minota, S. (1979) Desensitization of bullfrog atrium muscle to the muscarinic action of acetylcholine on its action potential. *Kurume Med. J.* **26**, 377-379
 - 5) 加藤栄司, 久場健司(1979)カエル交感神経節における GABA のシナプス前抑制機序. *日本生理誌* **41**, 98
 - 6) 原村耕治, 箕田昇一(1979)ウシガエル交感神経節細胞の pump 電位に対する生体アミンの作用. *日本生理誌* **41**, 99
 - 7) 箕田昇一(1979)無 Ca 溶液中での骨格筋細胞に見られる slow channel の性質. *日本生理誌* **41**, 99
 - 8) Nohmi, M. & Kuriyama, H. (1979) Topical difference of myosin B, extracted from smooth muscle of the rabbit stomach in ATPase activity and rate of superprecipitation. *Int. J. Biochem.* **10**, 39-46
 - 9) Morita, K., Kuba, K. & Koketsu, K. (1979) Effects of anions on the linkage between the intracellular release of Ca^{2+} and K^{+} permeability of the membrane in sympathetic ganglion cells. *J. Physiol. Soc. Jap.* **41**(8,9), 296
 - 10) Ohta, Y. & Kuba, K. (1979) Is there an inhibitory mechanism on transmitter release at the motor nerve terminal?. *J. Physiol. Soc. Jap.* **41**(8,9), 306
 - 11) Koketsu, K. & Minota, S. (1979) An acceleration of the electrogenic Na pump in bullfrog atrium muscle fibers. *J. Physiol. Soc. Jap.* **41**(8,9), 441
 - 12) 久場健司, 森田喜一郎(1979)ウシガエル交感神経節細胞の活動電位の後電位の発生機序. 第31回日本生理学会中国・四国地方会および第30回西日本生理学会予稿集 17
 - 13) 宮川美知子, 瀬藤教三, 箕田昇一(1979)ウシ蛙交感神経節前線維終末からの ACh 遊離に対する反回性制御. 第31回日本生理学会中国・四国地方会および第30回西日本生理学会予稿集 27
 - 14) 久場健司, 竹下節子(1979)交感神経節細胞内 Ca^{2+} 濃度の振動機序のシミュレーション. 第31回日本生理学会中国・四国地方会および第30回西日本生理学会予稿集 27
 - 15) Morita, K., Kato, E. & Kuba, K. (1979) A possible role of intracellular Ca^{2+} in the regulation of the ACh receptor-ion channel complex of the sympathetic ganglion cell. *Kurume Med. J.* **26**, 371-376
- 熊本大学医学部第二生理学教室**
- 1) Ogawa, H., Akagi, T., Ito, H. & Imoto, T. (1979) Lingual projections to the dorsal pons of the rat, studied by the field potential analysis. *Neuroscience Letters* **12**, 289-293
 - 2) Ogawa, H., Ito, H., Imoto, T. & Sato, M. (1979) A further study on neurons in the solitary tract-parabrachial nucleus pathway. *Integrative control functions of the brain* 2
 - 3) 森元克士, 谷口紘八(1979)カエル味蕾内における化学伝達と Ca イオン. *日本生理誌* **41**, 104
 - 4) 脇田良彬, 森元克士(1979)カエル味応答におよぼすメチル水銀の効果. *日本生理誌* **41**, 104-105
 - 5) 森元克士, 小川 尚(1979)食用ガエル皮膚機械受容ユニットの応答様式. *日本生理誌* **41**, 105
 - 6) Ogawa, H. & Morimoto, K. (1979) Responsiveness of cutaneous mechanoreceptive to sinusoidal stimulations in frogs. *日本生理誌* **41**, 363
 - 7) Ogawa, H., Imoto, T., Hayama, T. & Kaisaku, J. (1979) Afferent connections to the pontine taste area: Physiological and anatomical studies. 谷口財団脳科学部門第3回国際シンポジウム Brain mechanisms of sensation 予稿集 20-21
 - 8) 小川 尚, 井元敏明, 羽山富雄(1979)孤束核における味覚中継ニューロンの性質. *Proc. 13th Japanese Symp. on taste and smell* 74-77
- 熊本大学体質医学研究所生理学教室**
- 1)* Sasaki, T. (1978) Basal metabolism and body composition, with the progress of obesity. *J. Human Ergol.* **7**, 97-102
 - 2)* Sasaki, T. & Karasugi, T. (1978.12) Infradian rhythm in performance. *J. Physical Fitness Japan* **27**(4), 214
 - 3)* 佐々木 隆, 古閑利英子, 続 修二(1978.12)沖縄出身者の耐熱性. *日本熱帯医誌* **6**(3,4), 219-220
 - 4) 佐々木 隆(1979.1)日本人の基礎代謝の推移. *代謝* **16**(1), 3-12
 - 5) 佐々木 隆(1979.2)生物時計とそのしくみ. *Επιστήμη* **5**(2), 189-199
 - 6) 佐々木 隆(1979.3)エネルギー所要量と主婦の家事労働. *Ajico News & Information* No. 72
 - 7) 川上正澄, 久保勝知, 瀬戸勝男(1979.4)ストレス刺激に対する脳機能の適応成立について. 伊藤, 川上共編「適応と脳ホルモン」. 理工学社, 230-255
 - 8) 堀 哲郎, 篠原克明, 続 修二(1979.4)前視床下部温度感受性ニューロンの生後発達. *日本生理誌* **41**(4), 109
 - 9) 堀 哲郎, 篠原克明, 続 修二(1979.4)幼若ラット体温調節におよぼすキャプサイシンの効果. *日本生理誌* **41**(4), 109
 - 10) 佐々木 隆(1979.4)Sollicorder による体温データの収集. *日本生理誌* **41**(4), 109-110
 - 11) 堀 哲郎, 続 修二, 篠原克明(1979.4)生直後にキャプサイシン脱感作をうけたラットの行動性体温調節. *日本生理誌* **41**(4), 110

- 12) 古閑利英子, 続 修二, 佐々木 隆(1979.4)心拍間隔にあらわれる自己回帰活動性. 日本生理誌 **41**(4), 110
- 13) 川上正澄, 久保勝知, 樋口 隆, 明間立雄(1979.4)電気活動の面から見た神経ペプチドのゴナドトロピン分泌調節機序における働き. 日本内分泌誌 **55**(4), 234
- 14) 久保勝知, 林 玲子, 川上正澄(1979.4)卵巣ステロイド分泌に対する神経支配の役割. 日本内分泌誌 **55**(4), 289
- 15) 久保勝知, 川上正澄(1979.4)性ホルモンによる脳機能の性分化. 代謝 **6**, 511-520
- 16) 山崎昌広, 関 邦博, 中山英明, 佐藤方彦(1979.5)高ヘリウム酸素混合ガス環境下(31 ATA)におけるヒトの体温の変動. 日本人間工学会, 第20回大会論文集 262-263
- 17) 佐々木 隆(1979.6)心拍間隔の要素波解析からみた持久性運動. 体力科学 **28**, 150-152
- 18) Sasaki, T. (1979.6) Metabolic activity of tissues *in vivo*. Intern. J. Biometeor. **23**(2), 153
- 19) Nakamura, M., Hori, S., Toda, Y., Sasaki, T. & Akamatsu, T. (1979.6) Comparison of heat tolerance and cold tolerance between subtropical natives (Formosa, Okinawa) and temperate natives (Japan Main Islands). Report II: Comparison of sweating pattern and metabolism during cold exposure. Intern. J. Biometeor. **23**(2), 159
- 20) Sasaki, T. & Tsuzuki, S. (1979.6) Effect of transmeridian shift on the digestive system. Chronobiologia **6**(2), 150
- 21) Tsai, T. -H. & Sasaki, T. (1979.6) Phase-shifting of circadian activity rhythm in hamsters following alterations in lighting schedule. Chronobiologia **6**(2), 164-165
- 22) Sasaki, T. & Halberg, F. (1979.6) Reproducibility during decades and individualization of circannually rhythmic metabolic rate in Japanese men and women. In: Reinberg, A. & Halberg, F. (eds.), Chronopharmacology. Pergamon Press, Oxford & New York 247-254
- 23) 佐々木 隆(1979.7)生気象学とは. からだの科学 No. 88, 34-37
- 24) 佐々木 隆, 蔡 天護(1979.8)明暗サイクルの位相移動に伴う生体リズムの同調経過について. 体質学誌 **43**(1), 100-101
- 25) 佐々木 隆, 続 修二(1979.9)腸管運動におよぼす時差の影響. 第34回日本体力医学会大会予稿集 317
- 26) 佐々木 隆, 古閑利英子, 続 修二, 蔡 天護(1979.9)位相移動に起因する概日リズムの乱れの同調経過について. 日本生理誌 **41**(8,9), 422
- 27) 堀 哲郎, 続 修二(1979.9)出生直後のキャプサイシン脱感作ラットの体温調節行動. 日本生理誌 **41**(8,9), 430
- 28) 佐々木 隆, 古閑利英子, 続 修二(1979.10)沖縄からの移住者と本土出身者との耐寒性の比較. 第30回西日本生理学会予稿集 24
- 29) 久保勝知, 川上正澄(1979.10)電気活動の面から見た神経内分泌機構に対するオピオイドペプチドの作用. 第30回西日本生理学会予稿集 36
- 30) Kawakami, M., Kubo, K., Uemura, T. & Nagase, M. (1979.10) Evidence for the existence of extra-hypophyseal neural mechanisms controlling ovarian steroid secretion. J. Steroid Biochem. **11**, 1001-1005
- 31) 佐々木 隆, 続 修二(1979.11)位相移動後の再同調経過追跡のための指標について. 日本生気象誌 **16**(2), 21
- 32) 佐々木 隆, 古閑利英子, 続 修二, 唐杉 敬(1979.11)沖縄出身者の耐寒性. 体質医研報 **30**(1), 27
- 33) 佐々木 隆, 古閑利英子, 続 修二, 唐杉 敬(1979.11)沖縄出身者の耐熱性. 体質医研報 **30**(1), 28
- 34) 佐々木 隆, 続 修二, 古閑利英子, 唐杉 敬(1979.11)心拍間隔の要素波解析からみた持久性運動. 体質医研報 **30**(1), 29
- 35) 佐々木 隆, 唐杉 敬, 続 修二(1979.11)パフオーマンスにあらわれるインフラディアンリズムについて. 体質医研報 **30**(1), 30
- 36) 佐々木 隆(1979.11)身体組成別にみた産熱水準. 体質医研報 **30**(1), 31
- 37) 堀 哲郎, 原田温子(1979.11)Midbrain neuronal responses to local and spinal cord temperatures. 体質医研報 **30**(1), 32
- 38) 堀 哲郎, 原田温子(1979.11)Responses of midbrain raphe neurones to local temperature. 体質医研報 **30**(1), 33
- 39) 堀 哲郎, 原田温子, 中山昭雄, 鈴木正利, 登倉 尋実, 西尾 晃(1979.11)Febrile responses of Japanese macaques to endotoxin and prostaglandin E₁. 体質医研報 **30**(1), 34
- 40) 堀 哲郎, 中山昭雄, 登倉尋実, 原文江, 鈴木正利(1979.11)Thermoregulation of the Japanese macaque living in a snowy mountain area. 体質医研報 **30**(1), 35
- 41) 堀 哲郎, 篠原克明(1979.11)Hypothalamic neurones responding to temperature in the new-born rat. 体質医研報 **30**(1), 36
- 42) 山崎昌広(1979.12)光半導体位置検出器による動作解析の可能性について. 第5回人類動態学研究会西日本地方会抄録集
- 43) 佐々木 隆(1979.12)Cosinor plot における振幅の信頼限界算出法の改良. 第5回人類動態学研究会西日本地方会抄録集
- 44) 佐々木 隆, 古閑利英子, 続 修二(1979.12)本土沖縄間の移住による耐寒性の馴化. 第5回人類動態学研究会西日本地方会抄録集

長崎大学医学部第一生理学教室

- 1)* Hirose, T., Matsumoto, I. & Aikawa, T. (1978) Direct effect of histamine on cortisol and corticosterone production by isolated dog adrenal cells. *J. Endocrinol.* **76**, 371-372
 - 2)* Kitagawa, T., Shimozono, T., Aikawa, T. & Nishimura, H. (1978) Syntheses and properties of hetero-bisfunctional reagents for crosslinking. *Proc. of 17th symp. on peptide chemistry* 21-27
 - 3)* Kitagawa, T., Fujitake, T., Taniyama, H. & Aikawa, T. (1978) Enzyme immunoassay of viomycin. *J. Biochem. (Tokyo)* **83**, 1493-1501
 - 4) Aikawa, T., Hirose, T., Matsumoto, I. & Suzuki, T. (1979) Secretion of aldosterone in response to histamine in hypophysectomized-nephrectomized dogs. *J. Endocrinol.* **81**, 325-330
 - 5) Aikawa, T., Suzuki, S., Murayama, M., Hashiba, K., Kitagawa, T. & Ishikawa, E. (1979) Enzyme immunoassay of angiotensin I. *Endocrinology* **105**, 1-6
 - 6) Hirose, T., Matsumoto, I. & Aikawa, T. (1979) Effects of prostaglandin E₂ and dibutyryl cyclic AMP on the histamine-induced production of cortisol and corticosterone in isolated canine adrenal cells. *J. Endocrinol.* **82**, 275-277
 - 7) Matsui, H. (1979) Adrenal medullary secretory response to stimulation of the medulla oblongata in the rat. *Neuroendocrinology* **29**, 385-390
- 長崎大学熱帯医学研究所疫学部門**
- 1)* 小坂光男 (1978. 12) 暑熱環境と生体のからみ. *日本熱帯医誌* **6**(3, 4), 212-214
 - 2)* Kosaka, M. & Takaba, S. (1978. 12) Thermoregulatory responses due to thermal stimulation of the spinal cord in heat-and cold-acclimated decerebrate rabbit. *Int. J. Biometeor.* **22**(4), 334-335
 - 3) 井元孝章, 大渡 伸, 小坂光男(1979. 1) 温熱刺激および発熱物質投与による総頸動脈血流変化. 第3回熱帯医学会九州支部大会プログラム 1
 - 4) 小坂光男(1979. 2) 温度順化ウサギの脊髄温度刺激による体温調節機序の研究. 科研総合研究(A)「自律機能の適応に関する研究」53年度合同研究発表会. 抄録 26
 - 5) 井元孝章, 大渡 伸, 小坂光男(1979. 3) 温度刺激および発熱物質投与による総頸動脈血流変化. *熱帯医学* **21**(1), 37-43
 - 6) 小坂光男, 井元孝章, 大渡 伸(1979. 4) 脊髄温度刺激による体温調節反応. 第56回日本生理学大会予稿集 33
 - 7) 小坂光男, 大渡 伸, 井元孝章(1979. 4) ウサギの発熱曲線と脳血流. 第56回日本生理学大会予稿集 141
 - 8) Kosaka, M., Ohara, K. & Takaba, S. (1979. 6) Continuous measurement of oxygen consumption in the rabbit. *Int. J. Biometeor.* **23**(2), 155-156
 - 9) 小坂光男(1979. 7) 暑さ寒さの生理学. *からだの科学*(日本評論社) No. 88, 38-43
 - 10) 小坂光男(1979. 8) 深部温と深部体温計. *日本医事新報* **2885**, 143
 - 11) 小坂光男, 大渡 伸(1979. 9) 発熱ウサギの血漿内 Endotoxin 検索による発熱機序の解析. 第21回日本熱帯医学会総会. 講演抄録 30
 - 12) Kosaka, M., Inomoto, T. & Ohwatari, N. (1979. 9) Thermoregulatory responses to thermal stimulation of the spinal cord in rabbits. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8, 9), 425
 - 13) Kosaka, M., Ohwatari, N. & Inomoto, T. (1979. 9) Effects of pyrogen administration on blood flow of common carotid artery and cerebral tissue in rabbits. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8, 9), 431
 - 14) 小坂光男, 大渡 伸, 井元孝章(1979. 10) 発熱ウサギの視床下部温とその局所血流の関係. 科研総合研究(A)「暑熱寒冷順化の形成過程」54年第1回班研究連絡会議研究報告集 3-5
 - 15) 大渡 伸, 小坂光男(1979. 10) ウサギの血漿内 Endotoxin 検索による発熱機序の解析. *日本生気象誌* **16**(1), 8-13
 - 16) 土屋勝彦(1979. 10) ラット胸髄または腰仙髄の選択的溫度刺激の皮膚温におよぼす影響. 第30回西日本生理学会予稿集 24
 - 17) 井元孝章, 大渡 伸, 小坂光男(1979. 10) 発熱ウサギの脳温と脳血流について. 第30回西日本生理学会予稿集 33
 - 18) 小坂光男, 大渡 伸, 井元孝章(1979. 11) 体位変化による体温調節反応変化. *日本宇宙航空環境医学会*. 第25回総会予稿集 27-28
 - 19) 小坂光男, 大渡 伸, 井元孝章(1979. 11) 発熱ウサギの脳温と脳血流の関係. *日本生気象誌* **16**(2), 14
 - 20) Inomoto, T., Ohwatari, N. & Kosaka, M. (1979. 11) Blood flow changes in the hypothalamus during pyrogen-induced in rabbits. *Tropical Medicine* **21**(3), 153-160
 - 21) 小坂光男, 大渡 伸, 井元孝章(1979. 12) 体位変化による体温調節反応変化. *宇宙航空環境医学* **16**(2), 54
- 宮崎医科大学第一生理学教室**
- 1) 花森隆充, 村山伸樹, 石河延貞(1979. 1) ヒト体性感覚誘発電位の頭皮分布: 双極誘導記録の振幅変換法. *日本生理誌* **41**, 35-37
 - 2) 花森隆充, 石河延貞(1979. 1) 食用ガエル舌咽神経味線維の伝導速度. *日本生理誌* **41**, 38-40
 - 3) Ishiko, N. & Hanamori, T. (1979. 5) Frog's tongue receptive areas: neural organization

- and gustatory function. *Experientia* **35**, 773-774
- 4) Hanamori, T. & Ishiko, N. (1979.8) Evoked potentials in the medulla oblongata following stimulation of the glossopharyngeal (IXth) nerve in frogs. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 358
 - 5) Murayama, N. & Ishiko, N. (1979.8) Properties of fungiform papillae under dual innervation. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 360
 - 6) 石河延貞(1979.8)WHO方式による教育理念. *日本生理誌* **41**(8,9), 463
 - 7) 花森隆充, 石河延貞 (1979.10) カエル舌咽神経線維の延髄投射領野. *Proc. 13th Japanese Symp. on Taste and Smell XIII*, 63-66
- 宮崎医科大学生理学第二講座**
- 1) 江夏国寿, 松元一郎, 小宗静男, 森満保, 小杉忠誠 (1979.1) 伝音難聴の術前術後の Tympanogram. *臨床耳鼻* **6**, 190-191
 - 2) 小杉忠誠, 松尾理, 美原恒, 浜谷松夫 (1979.1) 家兔のアルサス型扁桃炎と血中線溶. *プラスミン研究会報告集* **18**, 41-45
 - 3) 小杉忠誠, 森満保, 浜谷松夫 (1979.2) 急性喉頭炎の抗プラスミン剤吸入療法—粘膜浮腫の成因におけるプラスミンの役割—. *耳鼻* **25**, 443-447
 - 4) Matsuo, O., Kawaguchi, T., Kosugi, T. & Mihara, H. (1979.2) Heat-induced aggregation of UK molecules. *Thrombos. Res.* **16**, 265-268
 - 5) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒 (1979.3) UK代謝におよぼす網内系の影響. *血液と脈管* **10**, 77-79
 - 6) 森満保, 落合洋一郎, 高橋政見, 小杉忠誠 (1979.3) 気道狭窄の外科的修復2症例. *耳鼻* **25**, 796-801
 - 7) Kosugi, T., Matsuo, O. & Mihara, H. (1979.5) Fibrinolytic activity in patients with acute tonsillitis. *Ann. Otol.* **88**, 366-367
 - 8) 小杉忠誠, 森満保, 浜谷松夫 (1979.5) Protease-antiprotease の観点よりみた扁桃炎の研究 第4報: 扁桃摘出術の後出血における血中線溶活性の意義. *日耳鼻* **82**, 9-14
 - 9) 小杉忠誠, 松尾理, 美原恒, 森満保 (1979.6) 気管気管支分泌液の蛋白分解酵素に関する研究 第2報: 血管作動薬によるラット分泌液中 Plasminogen activator の変動. *日気食会報* **30**, 187-191
 - 10) 平野一弥, 四倉喜美子, 小杉忠誠, 松尾理, 美原恒, 浜谷松夫 (1979.6) 組織 Plasminogen Activator の研究—慢性副鼻腔炎粘膜における特徴—. *耳鼻* **25**, 1102-1114
 - 11) 小杉忠誠, 森満保, 平野一弥, 浜谷松夫 (1979.7) Antrochoanal polyp における Protease-antiprotease 系—SK 反応性 proactivator の化学的性質—. *耳鼻と臨床* **25**, 816-821
 - 12) Matsuo, O., Kosugi, T., Mihara, H., Ohki, Y. & Matsuo, T. (1979.8) Retrospective study on the efficacy of using urokinase therapy. *Acta Haem. Jap.* **42**, 684-688
 - 13) 小杉忠誠, 松尾理, 美原恒, 森満保, 浜谷松夫 (1979.8) 気管気管支分泌液の蛋白分解酵素に関する研究 第3報: ラット分泌液の protease-antiprotease 系の解析. *日気食会報* **30**, 293-297
 - 14) Matsuo, O., Kawaguchi, T., Kosugi, T., Mihara, H. & Kimura, T. (1979.8) Effect of diuresis on urokinase excretion rate. *Thrombos. Haemostas.* **42**, 596-602
 - 15) 松尾理 (1979.9) 血液凝固線溶メーターの試作. *Biomedical J.* **3**, 1033-1038
 - 16) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒 (1979.9) Urokinase の体内動態からみた投与方法の検討—Pharmacokinetic approach—. *日本臨床* **37**, 3357-3361
 - 17) 小杉忠誠, 浜谷松夫, 小野寺哲 (1979.10) 鼻腔原発の悪性黒色腫—自験例を中心とした病態像の検討—. *耳展* **22**, 561-570
 - 18) 赤沢憲治, 森憲正, 小杉忠誠, 松尾理, 美原恒 (1979.10) 排卵現象における線溶系酵素の役割. *医用酵素* **3**, 281-285
 - 19) 小杉忠誠, 松尾理, 美原恒, 森満保, 浜谷松夫 (1979.10) 気管気管支分泌液の蛋白分解酵素に関する研究—ラット分泌液中の Plasminogen activator の性質と活性変動—. *日耳鼻* **82**, 110-111
 - 20) Kosugi, T., Morimitsu, T., Matsuo, O. & Mihara, H. (1979.10) A protease-antiprotease system in antrochoanal polyp I. Evidence for the existence of proactivator. *Arch. Otorhinolaryngol.* **225**, 97-102
 - 21) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒, 赤沢憲治 (1979.12) Urokinase と低分子 dextran sulphate の併用による線溶活性増強効果について. *血液と脈管* **10**, 584-587
 - 22) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒 (1979.12) One shot 投与による TCUK と UUK の bio-availability. *医学と生物学* **99**, 363-365
 - 23) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒 (1979.12) 持続静注投与による TCUK と UUK の bio-availability. *医学と生物学* **99**, 367-370
 - 24) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒, 大木康雄, 松尾武文 (1979.4) ウロキナーゼ療法の適応と効果判定. *日本医事新報* **2867**, 26-30
 - 25) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒 (1979.1) UK による血栓溶解療法の現状と将来への展望 In: 低分子デキストラン・ウロキナーゼ文献集 出版社: 大塚製薬, 東京. 41-50
 - 26) 松尾理, 小杉忠誠, 美原恒 (1979.4) 低分子デキストランとウロキナーゼの併用によるウロキナーゼ投与量の軽減化の可能性. 第41回日本血液学会総会 *日血会誌* **42**(2), 317
 - 27) Matsuo, O., Kosugi, T., Mihara, H., Ohki, Y.

- & Matsuo, T. (1979.4) Basic studies on the efficacy of urokinase. Intern. Symp. on Fibrinolysis with Urokinase (Hinterzarten West Germany)
- 28) Matsuo, O., Kawaguchi, T., Kosugi, T. & Mihara, H. (1979.4) Low molecular weight dextran sulphate and dextran as substitute for urokinase in thrombolytic therapy. Intern. Symp. on Fibrinolysis with Urokinase (Hinterzarten West Germany)
- 29) 小杉忠誠, 松尾 理, 美原 恒, 森満 保, 浜谷松夫(1979.5) 気管気管支分泌液の蛋白分解酵素に関する研究—ラット分泌液中の Plasminogen activator の性質と活性変動—. 第80回日本耳鼻咽喉科学会総会. 予稿集 73
- 30) Mihara, H., Matsuo, O., Kosugi, T., Akazawa, K. & Mori, N. (1979.6) The role of plasminogen activator in ovulation. 4th Meeting Asian-Pacific Div. Intern. Soc. of Hematology (Seoul, Korea) Abst. 37
- 31) Kosugi, T., Matsuo, O. & Mihara, H. (1979.6) Fibrinolytic enzyme in tracheobronchial secretion of rats - Existence of plasminogen activator. 4th Meeting Asian-Pacific Div. Intern. Soc. of Hematology (Seoul, Korea) Abst. 38
- 32) 小杉忠誠, 松尾 理, 美原 恒(1979.8) ヒト副鼻腔粘膜の炎症性増殖と Papilloma, Protease 活性. 第6回血液血管研究会. 抄録集 11
- 33) 中村 豊, 美原 恒, 稲井成恵, 泉 孝一, 松尾 理, 齋藤敏文, 佐土原敏行, 石井陽一(1979.8) 実験動物舎排出物のミミズ利用による処理方法の試み. 第14回日本実験動物学会抄録集 72
- 34) 美原 恒, 松尾 理, 小杉忠誠, 岡本彰祐(1979.8) MDS による線溶活性化の機作. MDS コンファレンス抄録集 27
- 35) 松尾 理, 小杉忠誠, 美原 恒(1979.8) 血栓溶解療法における MDS と UK 併用投与の意義. MDS コンファレンス抄録集 73
- 36) 小杉忠誠(1979.10) 実験的扁桃炎の線溶動態と抗プラスミン療法. 第19回プラスミン研究会報告集 112
- 37) 船原芳範, 金城清勝, 美原 恒, 小川公二(1979.10) エールリッヒ腹水癌細胞接種マウスの腹水, 癌細胞等の線溶動態. 第19回プラスミン研究会報告集 23-32
- 38) 赤沢憲治, 森 憲正, 美原 恒(1979.10) 排卵における線溶系酵素の役割. 第19回プラスミン研究会報告集 84-85
- 39) 荒武八起, 中野純一, 多田野祐子, 中川英彦, 大滝幸哉, 小杉忠誠, 松尾 理, 美原 恒(1979.10) 各種 FDP に対する硫酸プロタミンの作用機作. 第26回臨床病理学会総会抄録集 457
- 40) 小杉忠誠, 松尾 理, 美原 恒, 平野一弥, 森満保, 浜谷松夫(1979.10) Antrochoanal polyp における組織性 Plasminogen activator の特徴. 第18回日鼻副鼻腔学会抄録集 36
- 41) 美原 恒, 小杉忠誠, 松尾 理(1979.10) ウロキナーゼ療法の基礎的検討とその臨床応用. 第20回日本脈管学会総会特別講演. 脈管学 19(6), 469
- 42) 小杉忠誠, 松尾 理, 美原 恒(1979.10) ラット FDP の物理化学的性質. 第31回日本生理学会中国・四国地方会第30回西日本生理学会抄録集 14
- 43) 小杉忠誠, 浜谷松夫, 岡田修一, 森満 保(1979.11) 実験的扁桃炎における組織中 protease 活性. 第19回日本扁桃研究会総会抄録集 8
- 44) 岡田修一, 森満 保, 高橋政見, 小杉忠誠(1979.11) 輪状軟骨形成異常による気道狭窄の治療. 第31回日本気管食道科学会総会抄録集 143
- 45) 森満 保, 松元一郎, 高橋政見, 落合洋一郎, 小杉忠誠(1979.11) 長期気管内ポリエチレン管留置症例の呼吸機作および気管分泌物排出機能について. 第31回日本気管食道科学会総会抄録集 163
- 46) Collen, D., Matsuo, O. & Strassen, J. M. (1979.11) In vivo studies met een nieuwe synthetische thrombin inhibitor. Fonds Geneeskundig Wetenschappelijk Onderzoek Nat. Med. Res. Council. Kontaktgroep Bloedstolling (Leuven, Belgium)
- 47) 赤沢憲治, 森 憲正, 小杉忠誠, 松尾 理, 美原 恒(1979.12) 排卵への線溶系酵素の役割—Fibrin slide 法を用いた組織化学的観察—. 第2回血栓止血学会抄録集 22

鹿児島大学医学部第一生理学教室

- 1) 松本保久, 西村茂人, 宮蘭 光(1979.4) 大脳皮質組織呼吸におよぼすウアバインの影響. 日本生理誌 41, 102-103
- 2) 山神和比己, 大西瑞男(1979.4) 各種組織細胞の呼吸代謝に関する研究 第一報糖代謝とKイオンの動きについて. 日本生理誌 41, 103
- 3) Matsumoto, Y. & Onishi, M. (1979.9) Effects of methylmercuric chloride on the tissue respiration and changes in the net movement of mercury, potassium and calcium ions. 日本生理誌 41, 282
- 4) Yamagami, K. & Nishimura, S. (1979.9) A study on respiratory metabolism of tissue cells. II. Regulation of glycometabolism and movement of K ions. 日本生理誌 41, 286
- 5) Matsumoto, Y. & Onishi, M. (1979.9) Effects of Mercury (Inorganic and Organic) on the tissue respiration and movement of the cations (Hg⁺⁺, K⁺, Ca⁺⁺) Acta Medica Universitatis Kagoshimaensis 21, 131-140
- 6) 宮蘭 光(1979.9) 組織細胞呼吸とそれに伴う腸イオンの動きよりみた糖代謝に関する実験的研究. 鹿児島大医誌 31, 365-396
- 7) Sorimachi, M. & Yoshida, K. (1979.1) Exocytotic release of catecholamines and dopamine-

β -hydroxylase from the perfused adrenal gland of the rabbit and the cat. *Brit. J. Pharmacol.* **65**, 117

- 8) Sunayashiki, K., Ohno, T., Sorimachi, M. & Kataoka, K. (1979.9) Neurotensin in nerve tissues of the rat. *日本生理誌* **41**, 385
- 9) Sorimachi, M. (1979.9) Ca^{++} -Independent release of catecholamines from the perfused adrenal gland: secretion by exocytosis?. *日本生理誌* **41**, 414
- 10) 三宅正治, 柿本泰男, 反町 勝 (1979.11) β -シトルルグルタミン酸のエネルギー代謝における役割. *神経化学* **18**, 328
- 11) 反町 勝 (1979.11) 糖液による副腎髄質ホルモンの開口放出: 外液 Ca イオン依存性. *神経化学* **18**, 156

鹿児島大学医学部第二生理学教室

- 1) 渡辺裕貴, 橋村三郎(1979.4)カエル脊髄内一次求心性線維の興奮性. *日本生理誌* **41**(4), 105
- 2) 安楽満男, 橋村三郎(1979.4)アミノピリジン存在下で発生する急速冷却収縮について. *日本生理誌* **41**(4), 108
- 3) Watanabe, Y. & Hashimura, S. (1979.9) Primary afferent depolarization in the branch of a single afferent nerve fiber in the bullfrog. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 310
- 4) Anraku, M. & Hashimura, S. (1979.9) On the rapid cooling contraction of the frog muscle treated with 4-aminopyridine. *J. Physiol. Soc. Japan* **41**(8,9), 368
- 5) Hashimura, S. & Watanabe, Y. (1979.9) The functional significance of the primary afferent depolarization on the spinal cord of the bullfrog. *Acta Med. Univ. Kagoshima* **21**(2), 141-149

国立栄養研究所運動生理研究室

- 1)* Lamb, D. R. & Hashimoto, I.(1978)Exercise, prostaglandin E, and renin activity, Abstracts of the 1978 American College of Sports Medicine Annual Meeting. *Med. Sci. Sports.* **10**(1), 41
- 2)* Hashimoto, I.(1978.12)Effects of exercise on plasma renin activity and prostaglandins-Human beings and guinea pigs. *J. Physical Fitness Japan.* **27**(4), 203
- 3)* Watras, J. M., Hashimoto, I. & Gollnick, P. D. (1978) The effects of training on hamster cardiac and skeletal muscle myosin, Abstracts of the 1978 American College of Sports Medicine Annual Meeting. *Med. Sci. Sports.* **10**(1), 42
- 4) 橋本 勲(1979)最近のアメリカにおける運動生化学研究の動向—運動が分離された違った骨格筋繊維の Sarcoplasmic Reticulum の Ca^{++} Uptake に与える影響についての研究を中心として, 第55回日本体力医学会関東地方会講演抄録. *体力科学* **28**(1), 76
- 5) Hashimoto, I., Knudson, M. B., Noble, E. G., Klug, G. A. & Gollnick, P. D.(1979)Exercise-induced glycogen mobilization in sympathetomized rats. Abstracts of the 1979 American College of Sports Medicine Annual Meeting and Panpacific Conference. *Med. Sci. Sports.* **11**(1), 75
- 6) 橋本 勲, 樋口 満, 山川喜久江, 鈴木慎次郎 (1979.12)ラットの PRA と腎臓中の PGE におよぼす強制と自由運動のトレーニング効果. 第34回日本体力医学会大会抄録集. *体力科学* **28**(4), 332
- 7) 樋口 満, 橋本 勲, 山川喜久江, 鈴木慎次郎 (1979.12) ラットの血圧調節におよぼす強制運動と自由運動のトレーニング効果. 第34回日本体力医学会大会抄録集. *体力科学* **28**(4), 375

[お知らせ]

第8回国際バイオメカニクス学会大会開催要項

期 日：1981年(昭和56年)7月20日(月)～24日
(金) (5日間)

場 所：愛知県産業貿易館(名古屋市)及び愛
知県内

行 事：(1)学会総会 (2)研究発表 (3)特別講演
(4)テーマ別講演 (5)図書及び研究機器
の展示とデモンストレーション (6)施
設見学 (7)公開講演会 (8)サテライ
ト・ミーティング

テ ー マ：—General Biomechanics
—Human Engineering Biomechanics
—Medical Biomechanics
—Sports Biomechanics
—Biomechanics of Rehabilitation
—Research Methodology of
Biomechanics

研究発表(研究発表および討論の用語は英語)：

(1)口頭発表 (2)ポスター発表

申込期日：(1)発表演題申込み及び抄録提出期限

1981年2月1日

(2)発表演題採択の可否決定

1981年3月15日

(3)学会大会参加及び宿泊申込み期限

1981年5月1日

(4)発表論文提出期限 1981年6月1日

連絡先：第8回国際バイオメカニクス学会大会
組織委員会事務局

委員長 松井 秀治

事務局長 小林 寛道

〒464 名古屋市千種区不老町

名古屋大学総合保健体育科学センター

TEL 052-781-5111

内(5763・5766)

第10回国際脳波・臨床神経生理学会議

会 期：昭和56年(1981年)9月13日(日)～
9月18日(金)

会 場：国立京都国際会館(京都市)

会議の構成：特別講演，シンポジウム，教育講
演，脳波示説，一般演題，ビデオ
示説

会議使用言語：原則として英語(同時通訳なし)

シンポジウム：

- 神経系の伝達物質受容機能
- 新しい実験でんかん研究法—燃えあがり現
象(Kindling)と薬理・生理学
- 幼児での呼吸障害や危険な状態に応用され
る脳波・ポリグラフィ
- 脳幹誘発電位とその臨床的応用
- 患者の集中治療及び長期監視のさいのデー
タ整理法

●環境による障害における人間側要因と環境
側要因

●霊長類および運動障害患者の大脳皮質運動
領の機能的構成

●神経系の可塑性と機能の代償

●末梢神経及び中枢神経の疾患における神経
伝導

●薬物の血中濃度と脳波の関係(国際てんか
ん学会議—1981と合同)

参加登録手続き：

参加希望の方は，国内参加者登録用紙フォーム
Aと登録料(正会員40,000円)を，なるべく昭和
56年3月31日までに送付下さい。

※4月1日以降は，割増しの登録料(45,000円)
をご納入いただくことになります。

〔編集後記〕

最近新しい学術雑誌が急増し、専門領域が細分化され、情報過多の現象が生じている。更に学際的研究も盛んになりつつある。このような状況下で、論文に目を通すだけでも多くの時間を要する。このような状態ではたして独創性のある研究が生まれるであろうか。論文を通読すればするほど、それに囚われ、それに引きずられていくのが通例である。しかし論文をあまり読まないで独自の研究をしていると、世の中の学問の流行からとり残され、結果的には研究者集団から相手にされなくなり、外部からの研究費がもらいにくくなる。このことは講座費が極端にめべりしている現在、独自の研究ができなくなることを意味している。多くの研究費が必要であるとは思わないが、せめて10数年前、実質的に使用できた研究費くらいは物価スライド制にして講座費としてあてがわ

れば十分であると思う。独自の研究は常に成功するとは限らない。むしろ不成功に終るほうが多い。しかし流行を追った研究が多数あるよりも、流行をつくる研究が1つでもあるほうが好ましいのではないだろうか。

学会についても同様で、新しい学会が次々と誕生している。それはそれなりに理由のあることであって、あえて否定はしないが、物価高の折、学会費とか会場費とかで、多大の出費をすることになる。さらに演題を提出する場合、どの学会にすればよいか迷いが生じ、そのうちにどうでもよいというあきらめが生じ、結局は演題を提出しなくなる。この際、大局的な立場に立って、現存の学会を近代的に再編成しなおす必要があるのではないだろうか。

以上ひとりよがりな希望を書いたが、年末にあたり来年こういった初夢をみたい願望からである。
(中浜 博)

— 編 集 委 員 —

塚 田 裕 三 (幹 事)	馬 詰 良 樹	植 村 慶 一
田 中 励 作	上 山 章 光	中 村 嘉 男
菅 野 富 夫 (北 海 道)	中 浜 博 (東 北)	新 島 旭 (関 東)
永 坂 鉄 夫 (中 部)	品 川 嘉 也 (近 畿)	村 上 憲 (中・四 国)
河 田 溥 (九 州)		

詳細カタログ有り
御一報次第送呈

発売元 **IKEMOTO**

合理的. 経済的メカで 操作簡単

フラミンゴ S-300

支持棒
径 12mm
長さ 600mm
クローム鍍金

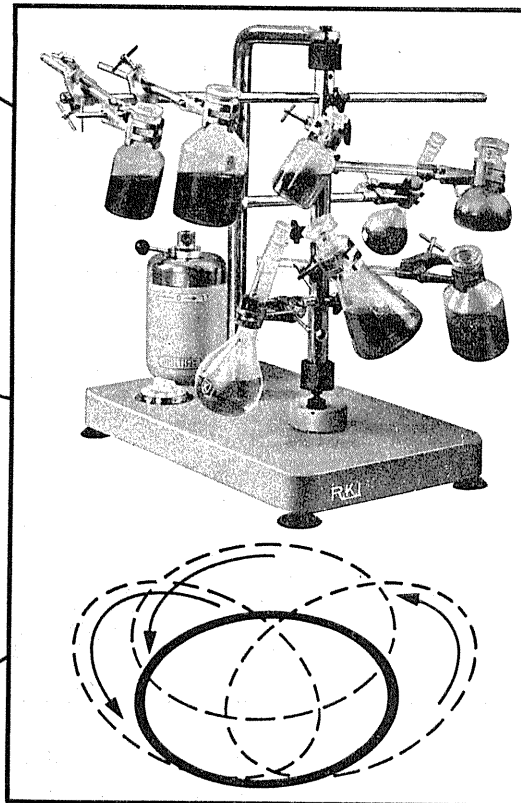
左右振盪方向
変更自在
モーター変速回転
45~450r.p.m

支持金具 6ヶ付
(0~75mm)
シャフト径12mm
長さ 175mm
取付回転自在形

試料容器は
径の如何にかゝら
ず交換、取付で
きます。

60分
タイマー付

本体の振動はなく
全く静かな
シェーカーです。



スピード変速、振動周期変更自在
R.K.I 4331 **フラミンゴ S-300**

¥230,000

S-300形

幅 470mm

モーター 80W

奥行 300mm

高さ 540mm

AC 100V

重量 26.5kg

50/60Hz

西独アルフレッド社製



2071 砂時計

時は金なり
弊社のマスコット

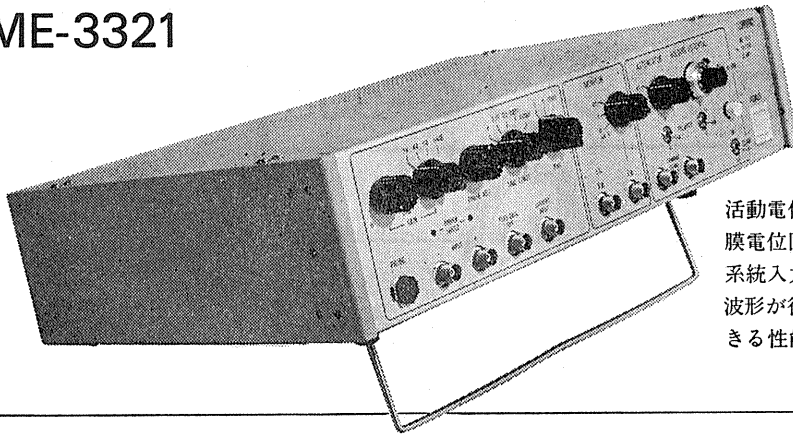
代理店 **池本理化工業株式会社**

東京都文京区本郷 3-25-11 TEL (03)811-4181(大代表)
〒113 TELEX 272-2 6 4 7R.K.I

膜電位固定法に必要な機能をフルに搭載

ボルテージクランプユニット

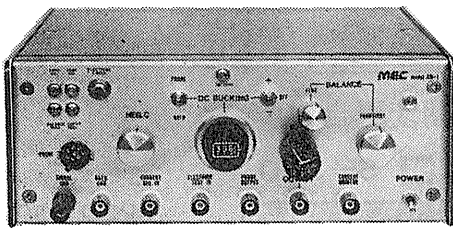
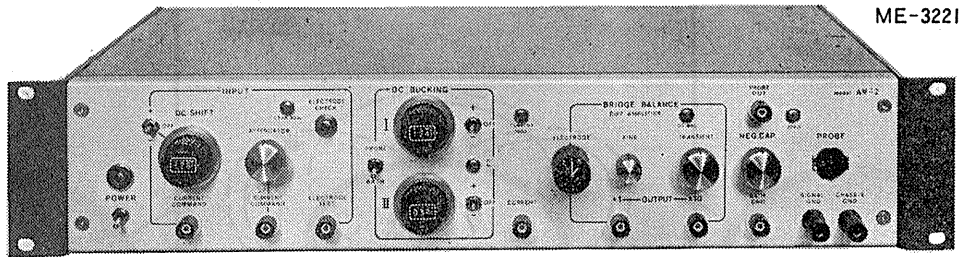
ME-3321



活動電位発生メカニズムを追求する膜電位固定法のための専用装置で、2系統入力を組み合わせた複雑なクランプ波形が得られ、高抵抗の電極を使用できる性能をもっています。

電極抵抗の高い実験にも抜群の威力

微小電極用増幅器 ME-3200シリーズ



ME-3221 通電回路・DCシフト・2ch DCバックリングつき

ME-3211 通電回路つき

- 細胞電位の研究をおこなうために特に設計された装置で、1000MΩまでと広範囲の電極が使用できます。
- 差動増幅器を内蔵しています。
- ME-3221は、色素注入が可能なDCシフトなど、高度な機能を盛り込んでいます。

ME-3211



株式会社

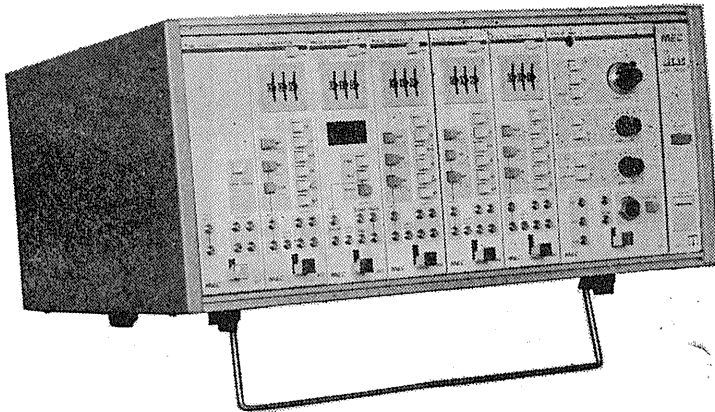
イムイー・コマーシャル

本社：〒166 東京都杉並区和田3-54-11 ☎(03)317-1451(代表)
 大阪営業所：〒564 大阪府吹田市江坂町2-2-20 ☎(06)380-2601
 福岡営業所：〒814 福岡市西区茶山5-12-18 ☎(092)863-2757
 工場：〒411 静岡県駿東郡長泉町下土狩1320 ☎(0559)87-8645

ME機器の機能をシステムデザイン

MEAC

メアックシステム
ME-2100シリーズ



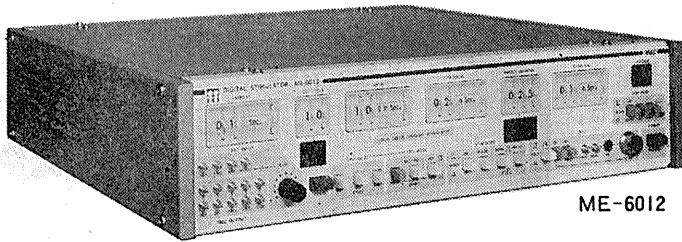
個々の装置として別れていた専用機能を有機的にユニット化し、用途に応じてひとつの装置として組みあげることができるシステムです。

★構成ユニット

- 301—トリガ
- 302—パルスジェネレータ
- 303—プリセットカウンタ
- 304—パワーアンプ-A
- 305—ステップパルスジェネレータ
- 306—プログラマブルジェネレータ
- 307—タイムマーカ
- 308—パワーアンプ-B
- 309—オーディオモニタ
- 310—ウインドディスクリミネータ
- 311—マルチカウンタ
- 312—パワーアンプ-C

高度化する電気生理学に対応する

デジタル刺激装置 ME-6000シリーズ



ME-6012

研究用高級機 ME-6012

- 階段波やステップ波に至る4種の刺激電圧パターンを持っています。
- 各設定部をトリガで動作させることができ、豊富な刺激時間パターンをつくりだせます。
- 出力電圧がデジタル設定できます。

実用機 ME-6052

- 水晶発振子とデジタルスイッチの使用により、波形精度そのものは高級機と同一できわめて高精度です。
- 設定された時間間隔のダブルパルスが得られます。
- 外部装置との組み合わせが容易です。



ME-6052



株式会社

エム・イー・コマーシャル

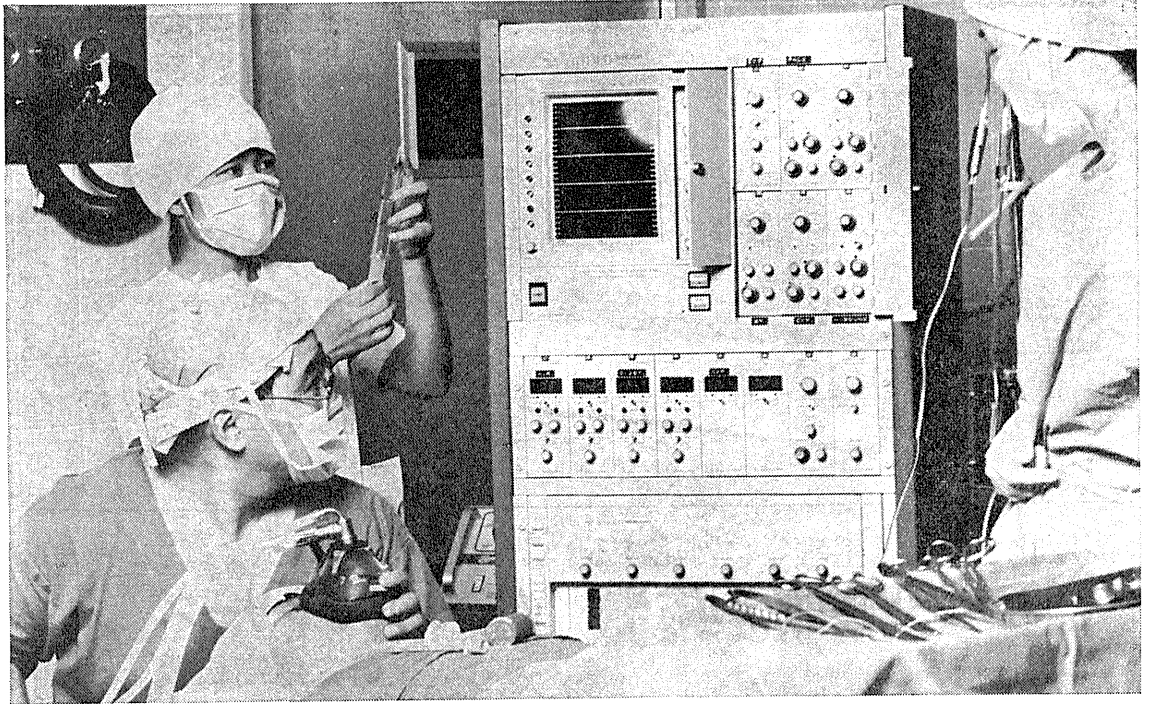
本社：〒166 東京都杉並区和田3-54-11 ☎(03)317-1451(代表)
 大阪営業所：〒564 大阪府吹田市江坂町2-2-20 ☎(06)380-2601
 福岡営業所：〒814 福岡市西区茶山5-12-18 ☎(092)863-2757
 工場：〒411 静岡県駿東郡長泉町下土狩1320 ☎(0559)87-8645



GOULD
An Electrical/Electronics Company

高信頼、多用途、直線性99.65%

グールド生体现象測定記録システム



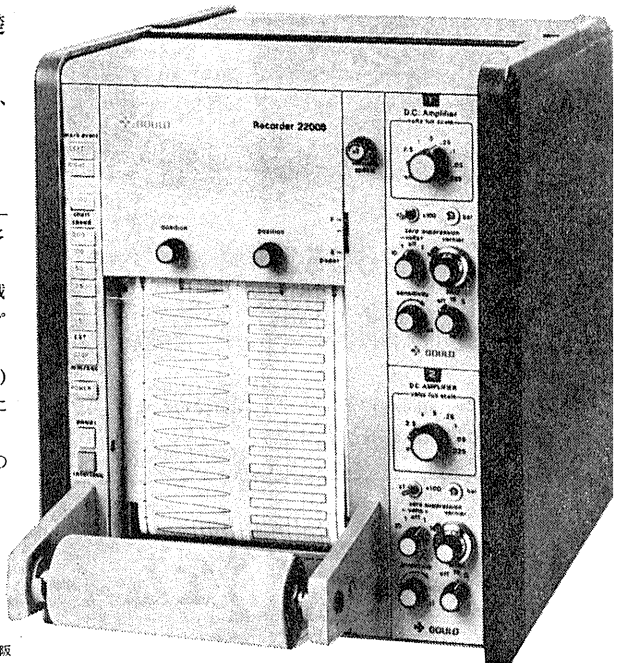
グールド生体现象測定記録システムは、臨床診断や基礎医学の分野で多用途に使用されます。このシステムの心臓部である加圧インク直記式記録計は、既に全世界で100,000チャンネル以上稼動しております。

特長

- 高信頼度設計……医学や航空宇宙、原子力、工業分野と多用途に使用されている高度の信頼性があります。
- モジュラー・デザイン……各記録チャンネル(1~8)は、電気的機械的に全て独立に設計されており、互換性のあるプラグイン・プリアンプを記録計内に実装ができます。
- 分解能……非接触フィードバック方式(METRISITE[®])を用いた強力なペン・モーターおよび独特のリニアライズ機構により、記録幅フル・スケールに対して、99.65%の直線性を保証します。
- 鮮明な記録……加圧インク・システムおよび特殊なペンの使用により、常に0.25mm幅の鮮明な記録がえられます。



●東京/〒160 東京都新宿区四谷1-2-8 ☎03(355)1111 ●大阪/〒530 大阪市北区小松原町2-4・大阪富国生命ビル ☎06(313)0671 ●資料のご請求は東京・特設部 医療機器課へお申し込み下さい。



心臓—その適応のしくみ 〈新刊〉

F.Z.メーエルソン著 松本進作監修 福渡淑子訳 A5・304頁・定価6,000円

世界的に著名な心臓生理学の権威が、スポーツ、労働などによる心臓の適応と適応不全、さらに病気としての心不全症を平易に解説する。体育から臨床医家にもわたる幅広い専門家・学生のための基礎入門書となるであろう。

主要目次：心臓の収縮と弛緩の基本法則／代償性心機能亢進、過剰適応および心不全／心臓の生理的負荷への適応／心臓の適応的再構築における神経ホルモン調節の役割／生体の環境に対する長時間適応の中心的要因／長時間適応の中心的要因の数学モデル

心臓血管系の力学と基礎計測

沖野 遙・菅原基晃・松尾裕英編 A5・504頁・定価8,000円

循環という現象を、医学者、工学者が一体となり、疾病心と正常心を対比させつつ可能なかぎり力学的に解説した待望の書。最新の臨床生理的計測法も収録し、広く学生、研究者、臨床医師向けに解説。

主要目次：序論 心臓血管系の力学的特性と挙動 心臓／血管 心臓血管系内の血液の流れ、血液／心臓血管系の流体力学／心臓血管病変と血液の流れ 微小循環 微小循環の生理学的研究法／微小循環系の基本的構造・脈管活動・生理的血液力学／微小循環系における血球成分の挙動／血漿分離流／自己調節／物質交換 計測 圧力計／電磁流量計／超音波による血液計測／ホットフィルム流速計／レーザドプラ血流計測／微小循環計測法／流れの可視可

地域と医療 〈新刊〉

小町喜男編 B6・240頁・定価1,900円

近年わが国でも漸く耳慣れたコミュニティメジシンについての初の成書。この分野の先進国英国で確立した理論を紹介、日本での展開を具体的に述べる。編者は大阪府での実践を経て筑波大学に初めての講座を担当しておられる。

主要目次：1.保健医療計画の展開 2.わが国の保健医療計画の現状 3.地域保健計画と保健所、医療機関の連携 4.農村における地域医療 5.都市における保健医療計画 6.脳卒中予防活動の実際

癌治療と栄養

近藤芳夫・三浦義彰・山本政勝編 A5・138頁・定価2,800円

高カロリー輸液を中心とする強制栄養法や、担癌生体の病態生理の研究の進歩に伴い、癌治療における栄養の役割は大きく見直されつつある。暗部に閉ざされてきたこの問題に脚光をあて、これまでの知見を網羅・解説した初の成書。

主要目次：1.癌と栄養の基礎 発癌と栄養／癌悪液質 2.癌患者の栄養管理 癌患者はなぜ栄養障害に陥るのか／癌患者の栄養評価／癌患者の栄養を改善する方法／癌患者の強制栄養 3.各種癌治療法と強制栄養 外科療法と強制栄養／化学療法と強制栄養／放射線療法と強制栄養／免疫療法と強制栄養

菌類図鑑(上・下)

宇田川俊一・椿 啓介・堀江義一・三浦宏一郎・箕浦久兵衛・山崎幹夫・横山竜夫・渡辺昌平共著 B5・上=784頁・15,000円・下=556頁・12,000円・上製・箱入り

ライフサイエンスの英語論文

溝口 歌子著 A5・168頁・1,500円

演習 ライフサイエンスの英語

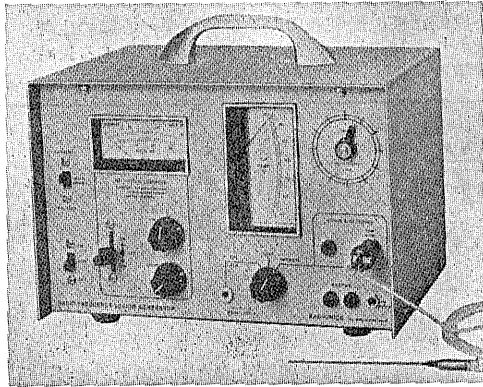
溝口 歌子監修・(財)国際医学情報センター編 A5・240頁・2,000円

0.7mmのリージョンから脳浮腫までを
均一なサイズ、すばらしい再現性をもって作成する!

RADIONICS社

動物用

高周波 RF リージョン ジェネレータ



主な特徴

- Lesion Generator による損傷は、小動物の脳組織の損傷に適しており、また手技が極めて簡単です。
- いくつもの損傷条件(損傷温度、損傷時間)でも生体組織に出血をひきおこすことはありません。
- 熱センサーによって損傷組織の温度を正確にコントロールすることができ、再現性、均一性に優れた損傷巣を作製することができます。
- 50℃以上の損傷条件では、損傷温度が高ければ高いほど、また損傷時間が長ければ長いほど大きな損傷巣を作製することができます。
- 外部の刺激装置と本体を接続することにより、同一電極から電気刺激を与えることもできます。

新発売

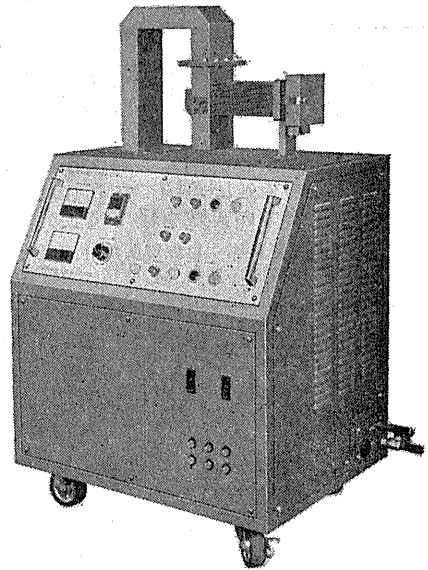
実験動物脳内酵素不活性化装置

東芝マイクロウェーブ アプリケーション アプリーケータ

TMW-6402A型(改良型)

実験動物の脳内物質の測定に先立ち、測定物質に関連する諸酵素を不活性化する方法として凍結法があります。しかしながら凍結法では生体内酵素を不活性化させるまでにかなりの時間を必要とし、この間に測定物質が変化するおそれがあります。

最近この解決方法としてマイクロウェーブの瞬時照射により諸酵素を不活性化する方法が用いられるようになりました。とくに照射後は凍結法で行われる低温処理の必要もなく室温にて処理ができ、安定した測定値が得られます。アセチルコリン、サイクリックAMP、サイクリックGMP、GABA、DOPA、5-HTP、セロトニン、カテコールアミンとその代謝産物、エンドルフィンなどの正確な測定の前処理装置として薬理学、生化学、生理学、内科学など広い分野にご活用いただけます。



主な特長

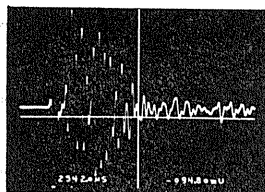
1. 均一な照射が得られ、更に従来組織破壊の見られた視床下部もきれいに残ります。
2. アプリケータ内のラットの脳波を記録することができます。
3. サイズの異なる実験動物を使用する場合、ホルダーを交換するだけで済むので手間がかかりません。
4. マイクロ波エネルギーは0~5,000Wまで連続可変、照射時間は0.1~9.9秒まで0.1秒単位で設定できます。
5. 電源部・アプリケーション部・出力部が1つにまとまっているので設置に要するスペースが少なく済みます。

日本総代理店

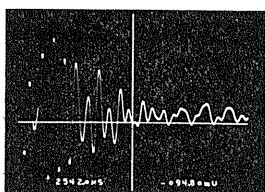
室町機械株式会社

〒103 東京都中央区日本橋室町4-3(大辻ビル)
電話 (03)241-2444(代表)

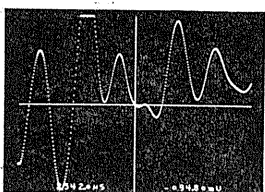
可能にした新しい波形観測!! デジタル・オシロスコープが



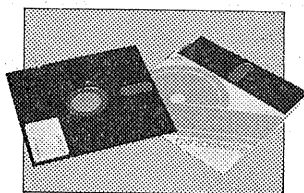
■トリガー以前の波形をみる
フリトリガー機能でトリガー以前の波形観測が容易に可能。しかも4Kワードのメモリなので波形を確実に捕えます。



■デジタルで読みとる
カーソル位置の電圧・時間をデジタル表示。任意の2点間の電圧差・時間差をCRT上で直接読みとることが可能になりました。



■拡大してみる
12ビット(0.025%)の分解能を活かす波形拡大機能。任意の部分を水平・垂直それぞれ独立に64倍まで拡大できます。



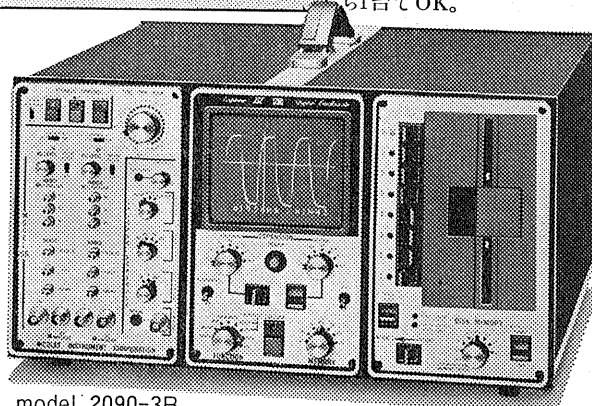
■データを保存する
32Kワード(1枚)のミニ・フロッピー・ディスクで捕捉した波形を容易に記憶・再生。データの大量保存に便利です。

General Purpose Oscilloscope

デジタル・オシロスコープ

model 2090シリーズ

ストレージ・オシロスコープ、ウェーブメモリー、トランジェント・レコーダ、デジタル電圧計、A/Dコンバータ、加減算器、大量データ記憶装置……デジタル・オシロなら1台でOK。



model 2090-3B

Nicolet is a Problem-Solving Company



NICOLET
JAPAN
CORPORATION

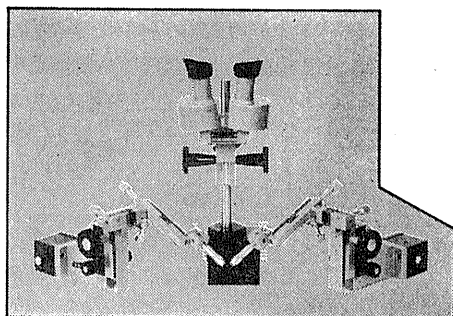
ニコレー・ジャパン株式会社

東京都杉並区上高井戸 1丁目23番11号(明和ビル)
〒168 TEL.03(329)2511(代)
大阪市淀川区西中島 6丁目7番8号(大昭ビル)
〒532 TEL.06(305)2150(代)
名古屋市千種区都通4丁目13番地IKKO今池セントラルビル
〒464 TEL.052(741)2150(代)

製品のデモの
ご依頼を
お待ちしております。

Prior

プライオア社 (イギリス) マイクロマニプレーター



- 輸入顕微鏡各種。
- 電極用ワイヤー(アメリカ)。
- 電顕用ダイヤモンドナイフ(スイス)。
- 精密ピンセット(スイス)。
及び、ハサミ(西ドイツ)。
特注品も応じます。
- その他、研究用設備機器各種。

❖ 詳細は下記までお問い合わせください。

輸入発売元

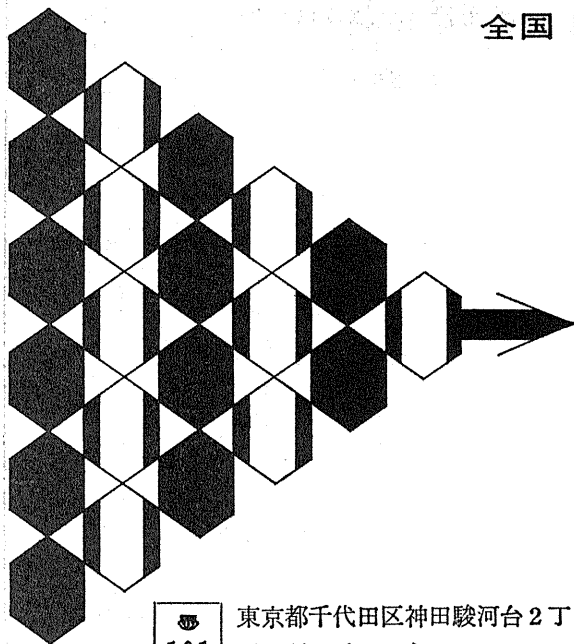
Chatani

株式会社 **茶 谷**

〒180 東京都武蔵野市境南町5-3-25

TEL. 0422-31-8562

全国 医学・薬学・化学・雑誌広告取扱
本誌 広告 取扱



各学会の雑誌、抄録、プログラム及び名簿
等の印刷並に広告掲載のお世話を致します

広告代理店

東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地
101 電話 (292) 6961 (代表)

日本医学広告社

運動生理学実験法

L.E.モアハウス著 石井・宮下監訳

A5・268頁・図表98 ¥2,200 千200

身体運動による人の反応の生理学的測定法について述べたもので、学生たちが、運動生理学のコースで直ちに活用できるように編成されている。実験室研究のための特別な諸用具についての概説に続いて、安全でかつ科学的な使用法の手順について書かれている。

1章序言, 2章室内実験の準備, 3章筋の能力, 4章筋電図, 5章可動性, 6章動作の記述, 7章運動心電図記録法(ECGまたはEKG), 8章運動中の心拍数, 9章動脈血圧, 10章呼吸機能検査法, 11章呼吸ガス分折(ショランダー), 12章呼吸ガス交換, 13章血液中の乳酸とピルビン酸, 14章作業測定法, 15章エネルギー消費, 16章効率, 17章有酸素的作業能, 18章無酸素的作業能

身体運動の生理学

猪飼道夫編著 B5・450頁・図475・表85

¥6000 千240

[分担執筆]

本書は人間が運動したときに起る種々のメカニズムを系統的に研究分析し、その機能の変化の間に一定の法則性があることを明らかにしようと書かれたものである。

身体運動の制御

高木・熊本編 A5・282頁・図58・表5 ¥4000 千200

本書は「運動の制御」の大命題をきっかけに基礎神経生理学領域から実際に身体活動を対象とする領域まで、広い領域にわたって分担研究を行なった成果をまとめたものである。

運動生理学入門

猪飼道夫著 B6・242頁・図83

¥800 千160

いかにして外界の変化を知るか、どのようにして運動がおきるか、エネルギーの変換は、エネルギーの補給は、生体に起る諸現象を簡潔に記述。

身体運動の科学 > 日本ハイオメカニクス学会編

〔I〕Human Powerの研究

A5・320頁・図189・表39 ¥4000 千200

〔II〕身体運動のスキル

A5・232頁・図101・表39 ¥3500 千200

〔III〕運動の制御

A5・362頁・図152・表17 ¥5000 千200

人体生理の基礎

真島・石田著 B5・274頁・図212・表43

¥3200 千240

生命体としての人体の日常的なはたらきとそのメカニズムを理解するための重要な考え方の基礎を適当な分量で、程度を落すことなく解説。

生体の運動制御機構の解明は、体育で科学するものにとって基本的な命題の一つである。基礎領域から応用領域にいたる論議を展開しようと試みてきた中で、最も応用的な側面、実際の身体活動にみられる制御のしくみを論じている。

スポーツ医学

石河・松井編 B5・496頁・図394・表180

¥8000 千240

[分担執筆]

スポーツなどの身体活動によって、人間は健康を増進したり、疾病を回復したりすることが可能となったが、また、疾病や外傷の原因となり、時には生命を失わせることもある。スポーツを医学的な立場から取りあげることが必要である。

筋力研究のための3部作

瞬発的パワーからみた

人体筋のダイナミクス

金子公宥著 A5・180頁・図85・表25 ¥2000 千200

人体筋出力の生理的限界と心理的限界

矢部京之助著 A5・252頁・図144 ¥4600 千200

ヒトの絶対筋力

福永哲夫著 A5・264頁・図155・表34 ¥4600 千200

日本人の体力

船川・小野他編 A5・400頁・図149・表139

¥3900 千200

[分担執筆]

日本人の体力がどのようなものであるかを改めて考え、理解しておくことは、日本人すべての社会活動や日常行動の中においてももかせないことである。

株式会社

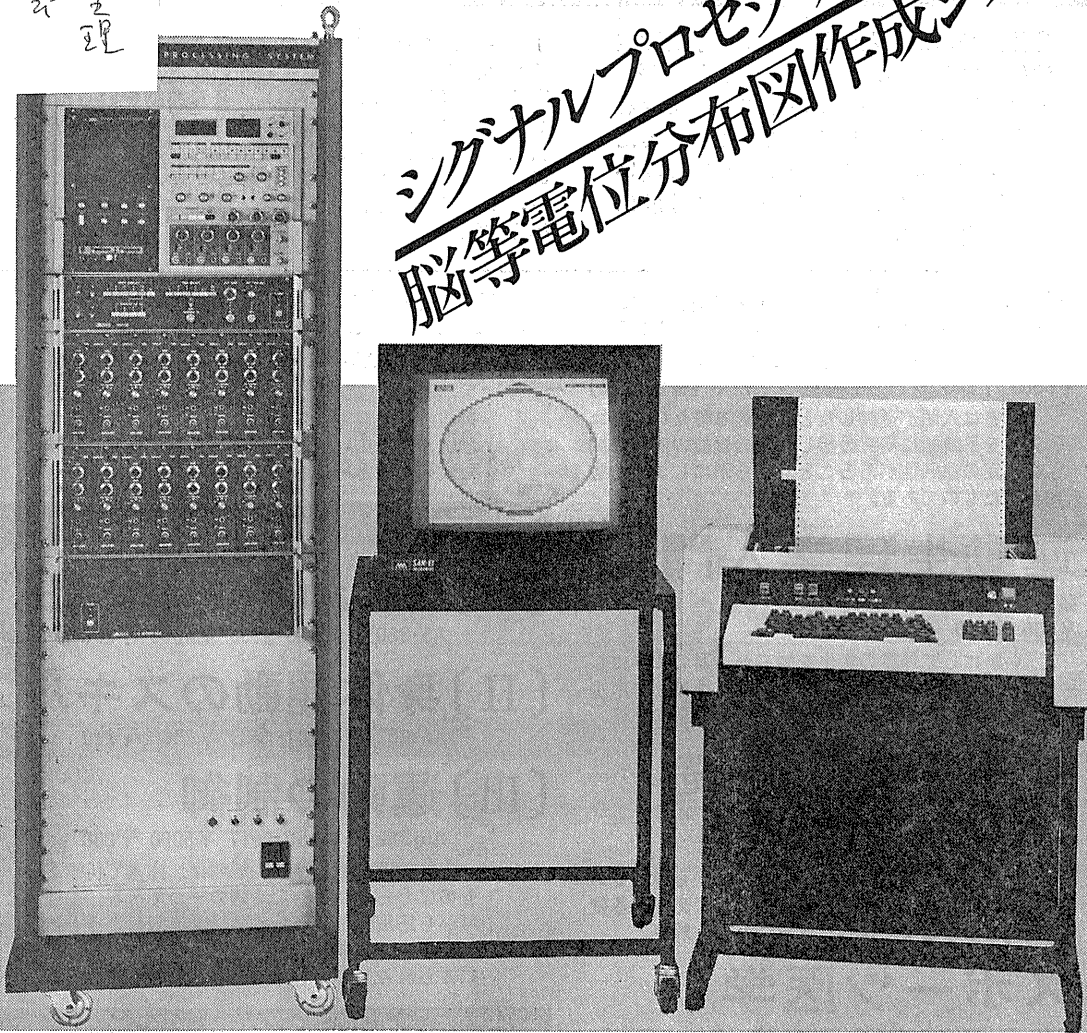
杏林書院

113 東京都文京区湯島4-2-1 TEL03(811)4887・振替口座 東京7-175174

94
学会
日本生理

三栄測器
k1-12-1 〒160 ☎03(209)0811(代)

シグナルプロセッサによる 脳等電位分布図作成システム



脳波計で導出した12または16chの脳波を解析して、各周波数帯域における脳等電位分布や、あるいはある潜時上における誘発反応電位振幅を求め、詳細な頭皮上の等電位分布図(二次元表示)を作成してカラーブラウン管に表示し、かつ超高速キーボードプリンタで印字記録するシステムです。従来、脳波を判読して、頭の中で空間的分布を作りあげていた

ものが、本システムにより、短時間で客観的、定量的にマッピング可能となりました。

- 周波数分析と誘発反応のマッピングが可能
- FFT方式による高速演算処理
- データ取込み時間を自由に設定可能
- 周波数分析帯域は6帯域
- カラー表示、印字は11段階表示

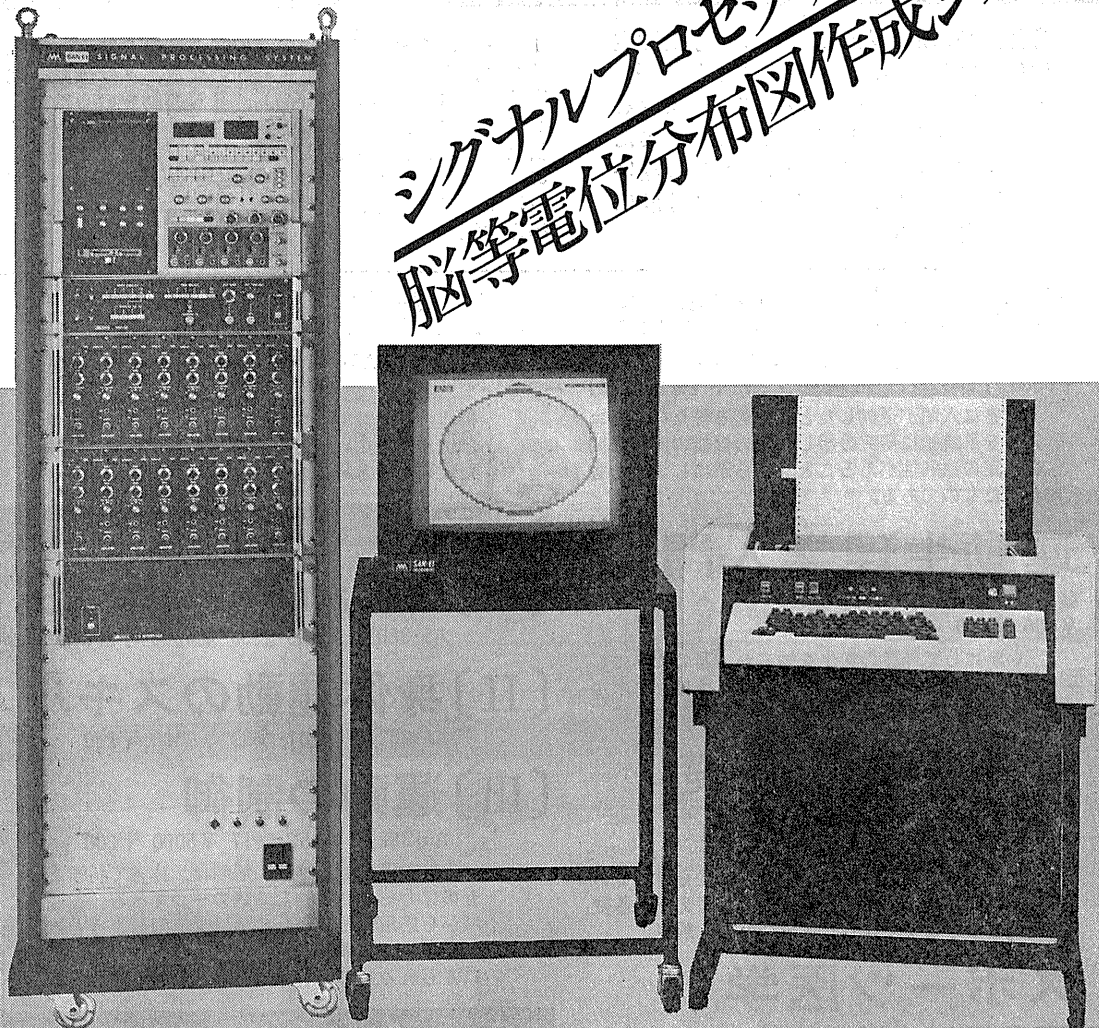
トポグラフィシステム 500

明日の健康と福祉を守る

AAA San-ei 三栄測器

東京都新宿区大久保1-12-1 〒160 ☎03(209)0811代

シグナルプロセッサによる 脳等電位分布図作成システム



脳波計で導出した12または16chの脳波を解析して、各周波数帯域における脳等電位分布や、あるいはある潜時上における誘発反応電位振幅を求め、詳細な頭皮上の等電位分布図(二次元表示)を作成してカラーブラウン管に表示し、かつ超高速キーボードプリンタで印字記録するシステムです。従来、脳波を判読して、頭の中で空間的分布を作りあげていた

ものが、本システムにより、短時間で客観的、定量的にマッピング可能となりました。

- 周波数分析と誘発反応のマッピングが可能
- FFT方式による高速演算処理
- データ取込み時間を自由に設定可能
- 周波数分析帯域は6帯域
- カラー表示、印字は11段階表示

トポグラフィシステム 500

使いやすさを追求

一段と機能アップ

通電誘導型

微小電極用増幅器

MEZ-8201

〈特長〉

- ① DCポテンシャルをデジタル表示します。
- ② 通電は定電流(最大600 μ A)で行えます。
- ③ 通電電流をデジタル設定できます。
- ④ 通電波形は2種類の刺激入力を加算できます。
- ⑤ プローブチェック、電極抵抗測定が簡単に行えます。
- ⑥ 薬物・色素注入のための入力端子付です。
- ⑦ ハイカットフィルタ、ハムフィルタ付です。



2チャンネル使用(不平衡)もできる

平衡入力型

微小電極用増幅器

MEZ-7101

〈特長〉

- ① 平衡入力型(入力抵抗 10^{10} Ω 以上)です。
- ② 2チャンネル使用(不平衡入力)可能です。
- ③ 電極チェックが簡単です。
- ④ 入力DCレベルがメータ表示されます。
- ⑤ ハイカットフィルタ内蔵。
- ⑥ 通電誘導型としても使用可能(ブリッジバランスボックス必要)です。



エレクトロニクスで病魔に挑戦する

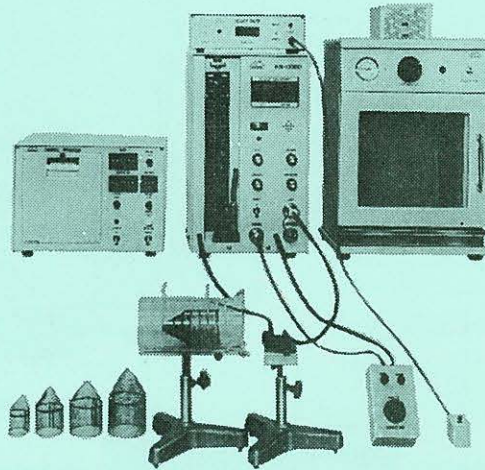


東京都新宿区西落合1-31-4 TEL(953)1181大代表 〒161



ラット尾動脈圧測定装置 KN-209

非観血的にラットの尾動脈圧を測定するデジタル血压計です。



実験動物解剖器具・一般研究実験器械器具・動物実験器械器具・動物飼育管理器具

株式会社 夏目製作所

東京都文京区湯島2丁目18番6号
電話 03(813)3251 (代表)

塚田裕三

印刷所

鶴岡印刷株式会社

日本生理学会

定価

七百三十円